

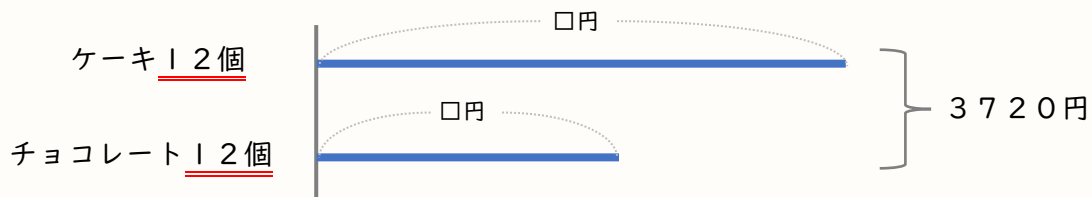
さくさく和差算・下

第11回の解答

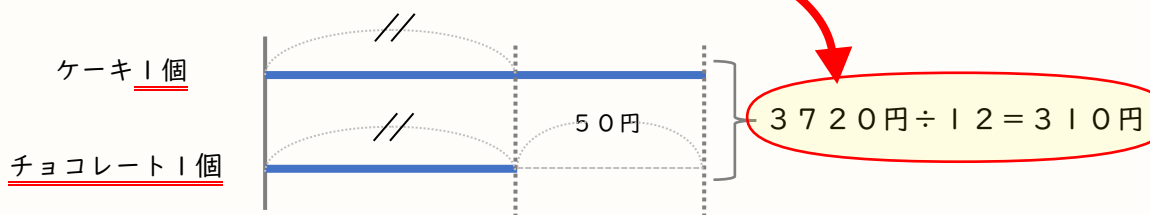
①（それぞれ1個の値を求める問題）

ケーキとチョコレートを12個ずつ買うと3720円でした。ケーキの代金はチョコレートの代金より50円高いそうです。1個の代金はそれぞれいくらでしょうか。

ケーキと、チョコレートそれぞれ12個ずつのとき、和は3720円



ケーキとチョコレート、それぞれ1個ずつのとき、差は50円。



$$3720 \text{円} \div 12 = 310 \text{円}$$

合わせて 310円（和） ちがいは 50円（差）

求めるのは、それぞれ1個の代金（値段）。

①ケーキから差を引いて、チョコレートと同じ値にする。それを2で割る。（チョコレート）

チョコレートに差を足す。（ケーキ）

①チョコレートに差を足して、ケーキと同じ値にする。それを2で割る。（ケーキ）

ケーキから差を引く。（チョコレート）

【式】① $3720 \div 12 = 310$ (各1個の和)

$(310 - 50) \div 2 = 130$ (チョコレート)

$130 + 50 = 180$ (ケーキ)

① $3720 \div 12 = 310$ (各1個の和)

$(310 + 50) \div 2 = 180$ (ケーキ)

$180 - 50 = 130$ (チョコレート)

【答え】 ケーキ 180円 チョコレート 130円

② (和が3つある問題)

3つの整数A、B、Cがあります。AとBの和が85、BとCの和が60、AとCの和が83のとき、Bはいくつになりますか。

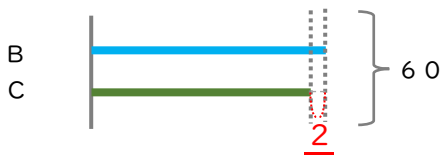
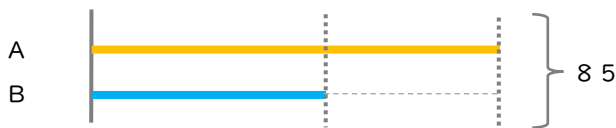
AとBの和が85

BとCの和が60

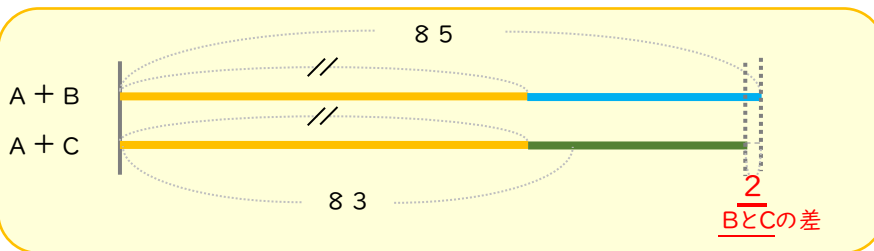
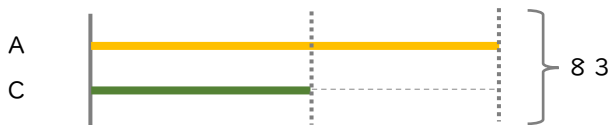
AとCの和が83

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が85 と AとCの和が83よりBとCの差を求める。



和と差が
分かる



求めるのはBの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・BとC 合わせて 60 (和) BとC ちがいは 2 (差)

Cに差を足して、Bと同じ長さにする。それを2で割る。(B)

【式】 $85 - 83 = 2$ (BとCの差)

$(60 + 2) \div 2 = 31$ (B)

【答え】 B 31

※その他の方法

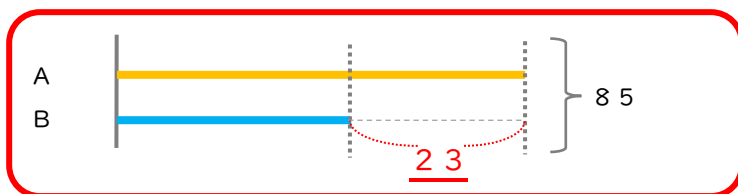
AとBの和が85

BとCの和が60

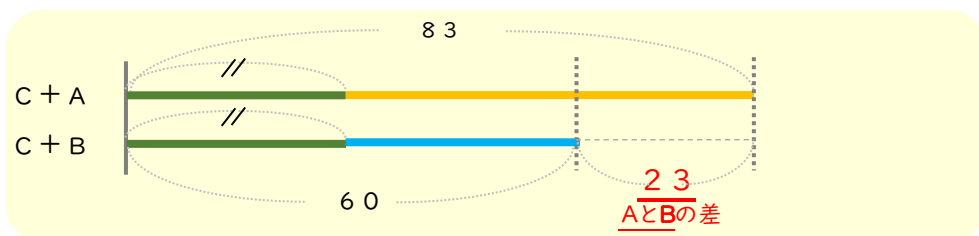
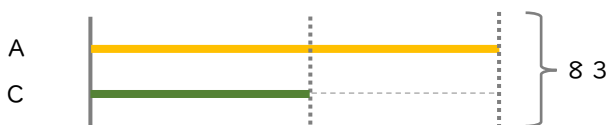
AとCの和が83

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ BとCの和が60 と AとCの和が83 よりAとBの差を求める。



和と差が分かる



求めるのはBの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・AとB 合わせて 85 (和) AとB ちがいは 23 (差)

Aから差を引いて、Bと同じ長さにする。それを2で割る。(B)

【式】 $83 - 60 = 23$ (AとBの差)

$(85 - 23) \div 2 = 31$ (B)

【答え】 B 31

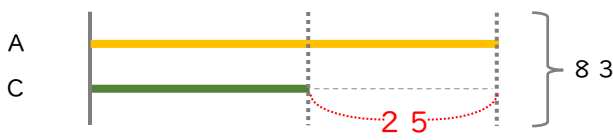
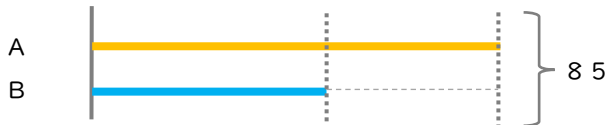
AとBの和が85

BとCの和が60

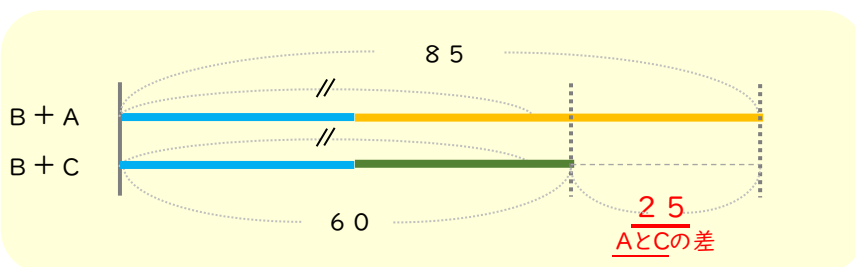
AとCの和が83

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が85 と BとCの和が60 よりAとCの差を求める。



和と差が
分かる



求めるのはBの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・AとC 合わせて 83 (和) AとC ちがいは 25 (差)

Aから差を引いて、Cと同じ長さにする。それを2で割る。(C) Cに差を足す。(A)

A + B = 85なので $85 - A = B$

B + C = 60なので $60 - C = B$

【式】 $85 - 60 = 25$ (AとCの差)

$(83 - 25) \div 2 = 29$ (C)

$29 + 25 = 54$ (A)

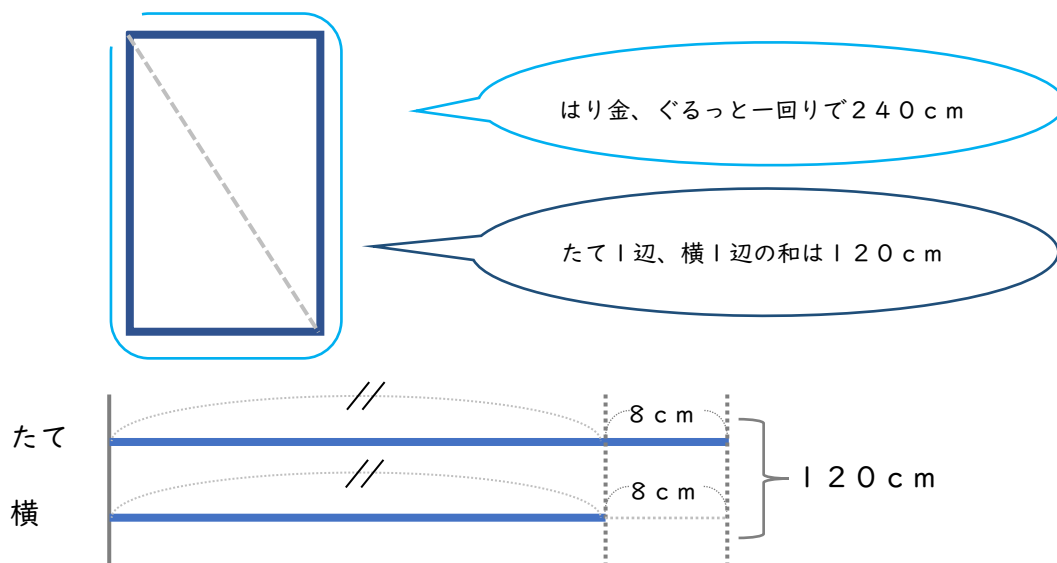
$85 - 54 = 31$ (B)

$60 - 29 = 31$ (B)

【答え】 B 31

③（長方形の問題）

長さが240cmあるはり金を折り曲げて、横の長さがたての長さより8cm短い長方形をつくりました。この長方形の面積を求めましょう。



合わせて 120cm (和) ちがいは 8cm (差)

求めるのは、長方形面積。

- ① たてから差を引いて、横と同じ長さにする。それを2で割る。(横) 横に差を足す。(たて)
 (①) 横に差を足して、たてと同じ長さにする。それを2で割る。(たて) たてから差を引く。(横)

【式】 ① $240 \div 2 = 120$

$(120 - 8) \div 2 = 56$ (横)

$56 + 8 = 64$ (たて)

$56 \times 64 = 3584$

(①) $240 \div 2 = 120$

$(120 + 8) \div 2 = 64$ (たて)

$64 - 8 = 56$ (横)

$64 \times 56 = 3584$

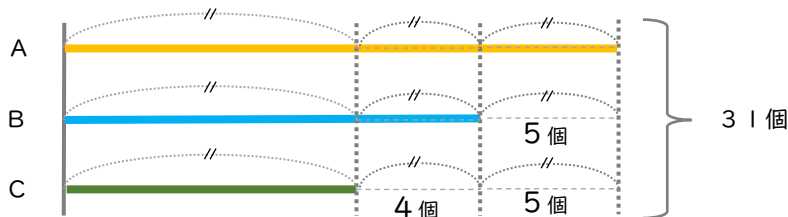
【答え】 3584 cm²

④（割り切れる場合を考える問題）

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、31個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは5個、BくんとCくんの個数のちがいは4個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。

線分図は2通りできる。線分図より答えを求め、割り切れた方が正解。

〈ケース1・・・BくんがCくんより多いとき（Bが2番目に多いとき）〉



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 31（和）

AとB ちがいは 5（差） BとC ちがいは 4（差）

AとB+C ちがいは 5+4+5=14（差）

B、Cに差を足してAと同じ個数にする。それを3で割る。（A）

$(31 + 14) \div 3 = 15$ （A）

【式】

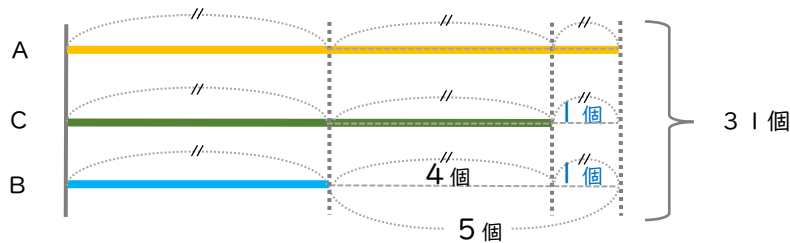
$5 + 4 + 5 = 14$

$(31 + 14) \div 3 = 15$ （A）

【答え】 Aくん 15個

〈ケース2・・・BくんがCくんより少ない場合（Cが2番目に多いとき）〉

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、31個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは5個、BくんとCくんの個数のちがいは4個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 31 (和)

AとB ちがいは 5 (差) BとC ちがいは 4 (差)

AとB+C ちがいは $5 + (5 - 4) = 6$ (差)

B、Cに差を足してAと同じ個数にする。それを3で割る。(A)

$(31 + 6) \div 3 = 12 \dots 1$ (A) 割り切れない

ケース2は割り切れないので違う

【式】

$$5 + (5 - 4) = 6$$

$$(31 + 6) \div 3 = 12 \dots 1 \text{ (A) 割り切れないので違う}$$

⑤

A, Bの2つの数があります。AはBよりも大きく、その和を3倍しても、その差を5倍しても1215になります。それぞれいくつでしょうか。

$$(A + B) \times 3 = 1215$$

$$(A - B) \times 5 = 1215$$

$$A + B = 1215 \div 3 = 405$$

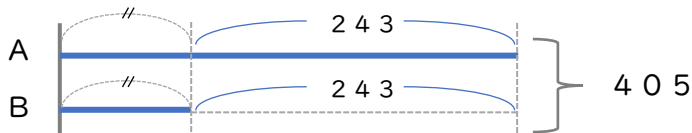
$$A - B = 1215 \div 5 = 243$$

合わせて 405 (和) ちがいは 243 (差)

求めるのは、それぞれの数

① Aから差を引いて、Bと同じ値にする。それを2で割る。(B) Bに差を足してA。

(①) Bに差を足して、Aと同じ値にする。それを2で割る。(A) Aから差を引いてB



【式】 ① $1215 \div 3 = 405$

$$1215 \div 5 = 243$$

$$(405 - 243) \div 2 = 81 \text{ (B)}$$

$$81 + 243 = 324 \text{ (A)}$$

【式】 (①) $1215 \div 3 = 405$

$$1215 \div 5 = 243$$

$$(405 + 243) \div 2 = 324 \text{ (A)}$$

$$324 - 243 = 81 \text{ (B)}$$

【答え】 A 324 B 81

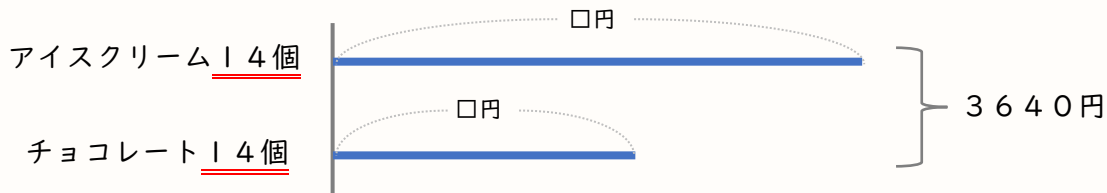
さくさく和差算・下

第12回の解答

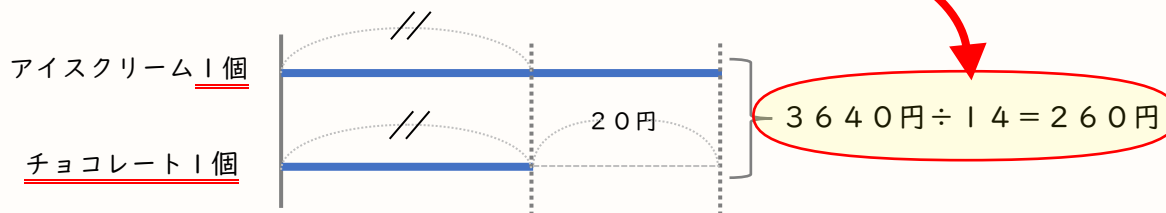
①（それぞれ1個の値を求める問題）

チョコレートとアイスクリームを14個ずつ買うと3640円でした。チョコレートの代金がアイスクリームの代金より20円安いとき、1個の代金はそれぞれいくらでしょうか。

チョコレートと、アイスクリームそれぞれ14個ずつのとき、和は3640円



チョコレートとアイスクリーム、それぞれ1個ずつのとき、差は20円。



$$3640 \text{ 円} \div 14 = 260 \text{ 円}$$

合わせて 260円（和） ちがいは 20円（差）

求めるのは、それぞれ1個の代金（値段）。

①アイスクリームから差を引いて、チョコレートと同じ値にする。それを2で割る。（チョコレート）

チョコレートに差を足す。（アイスクリーム）

(①)チョコレートに差を足して、アイスクリームと同じ値にする。それを2で割る。（アイスクリーム）

アイスクリームから差を引く。（チョコレート）

【式】① $3640 \div 14 = 260$ (各1個の和)

$(260 - 20) \div 2 = 120$ (チョコレート)

$120 + 20 = 140$ (アイスクリーム)

(①) $3640 \div 14 = 260$ (各1個の和)

$(260 + 20) \div 2 = 140$ (アイスクリーム)

$140 - 20 = 120$ (チョコレート)

【答え】 チョコレート 120円 アイスクリーム 140円

② (和が3つある問題)

3つの整数A、B、Cがあります。AとBの和が89、BとCの和が46、AとCの和が53のとき、Bはいくつになりますか。

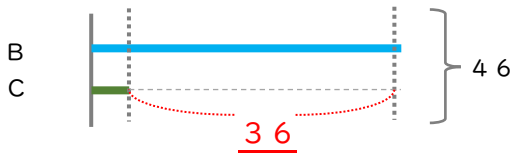
AとBの和が89

BとCの和が46

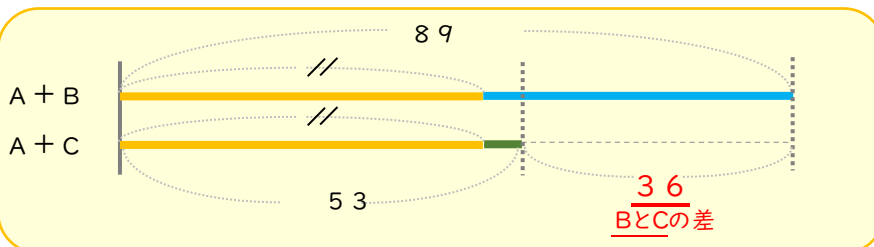
AとCの和が53

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が89 と AとCの和が53よりBとCの差を求める。



和と差が
分かる



求めるのはBの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・BとC 合わせて 46 (和) BとC ちがいは 36 (差)

Cに差を足して、Bと同じ長さにする。それを2で割る。(B)

【式】 $89 - 53 = 36$ (BとCの差)

$(46 + 36) \div 2 = 41$ (B)

【答え】 B 41

※その他の方法

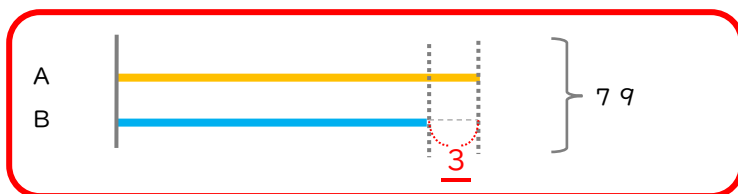
AとBの和が89

BとCの和が46

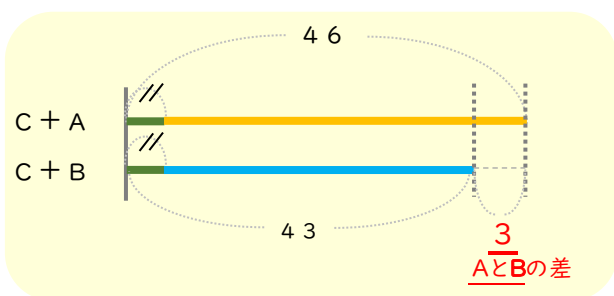
AとCの和が53

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ BとCの和が46 と AとCの和が53 よりAとBの差を求める。



和と差が分かる



求めるのはBの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・AとB 合わせて 79 (和) AとB ちがいは 3 (差)

Aに差を足して、Bと同じ長さにする。それを2で割る。(B)

【式】 $46 - 43 = 3$ (AとBの差)

$(79 + 3) \div 2 = 41$ (B)

【答え】 B 41

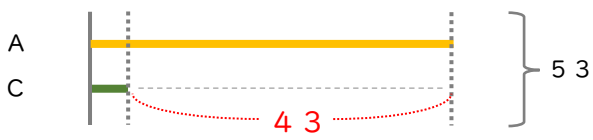
AとBの和が89

BとCの和が46

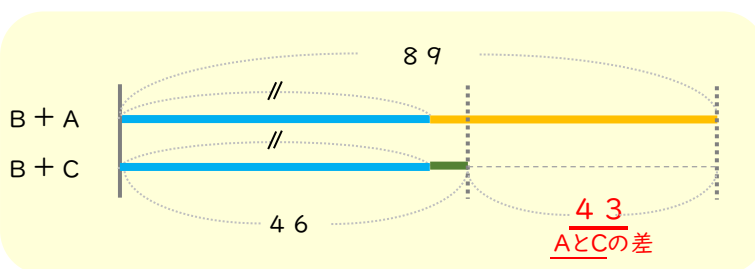
AとCの和が53

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が89 と BとCの和が46 よりAとCの差を求める。



和と差が
分かる



求めるのはBの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・AとC 合わせて 53 (和) AとC ちがいは 43 (差)

Aから差を引いて、Cと同じ長さにする。それを2で割る。(C) Cに差を足す。(A)

A + B = 89なので $89 - A = B$

B + C = 46なので $46 - C = B$

【式】 $89 - 46 = 43$ (AとCの差)

$(53 - 43) \div 2 = 5$ (C)

$5 + 43 = 48$ (A)

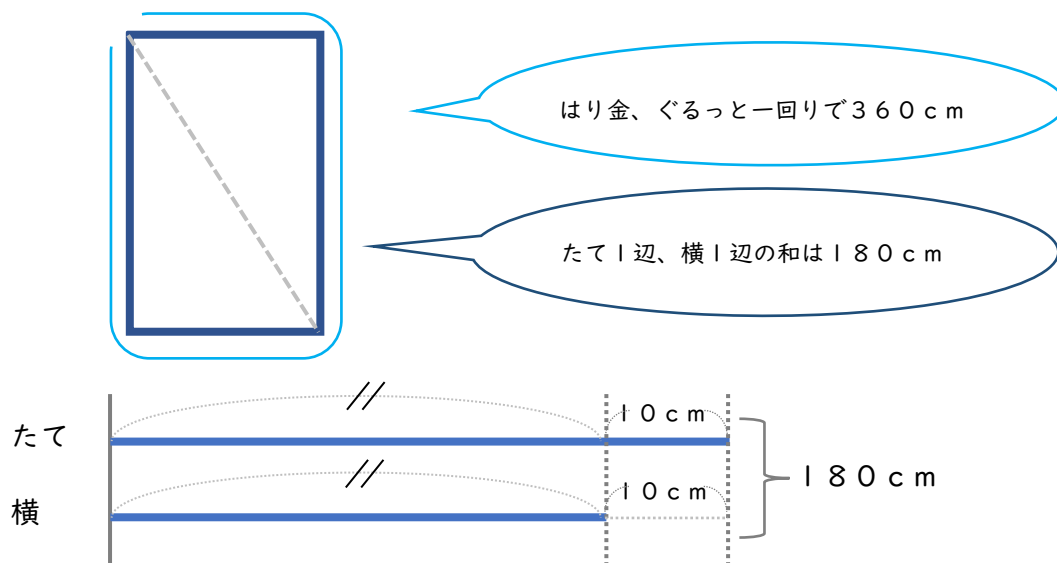
$89 - 48 = 41$ (B)

$46 - 5 = 41$ (B)

【答え】 B 41

③（長方形の問題）

長さが360cmあるはり金を折り曲げて、横の長さがたての長さより10cm短い長方形をつきました。この長方形の面積を求めましょう。



合わせて 180cm (和) ちがいは 10cm (差)

求めるのは、長方形面積。

①たてから差を引いて、横と同じ長さにする。それを2で割る。(横) 横に差を足す。(たて)
 (①)横に差を足して、たてと同じ長さにする。それを2で割る。(たて) たてから差を引く。(横)

【式】 ① $360 \div 2 = 180$

$(180 - 10) \div 2 = 85$ (横)

$85 + 10 = 95$ (たて)

$85 \times 95 = 8075$

(①) $360 \div 2 = 180$

$(180 + 10) \div 2 = 95$ (たて)

$95 - 10 = 85$ (横)

$95 \times 85 = 8075$

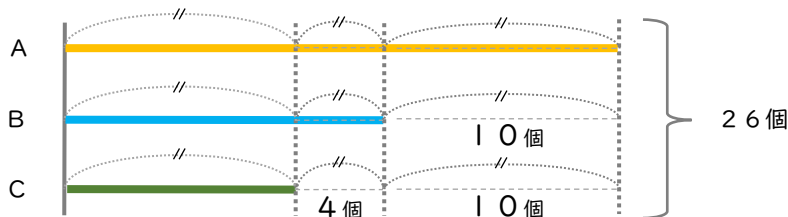
【答え】 8075cm²

④（割り切れる場合を考える問題）

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、26個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは10個、BくんとCくんの個数のちがいは4個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。

線分図は2通りできる。線分図より答えを求め、割り切れた方が正解。

〈ケース1・・・BくんがCくんより多いとき（Bが2番目に多いとき）〉



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 26（和）

AとB ちがいは 10（差） BとC ちがいは 4（差）

AとB+C ちがいは $10 + 4 + 10 = 24$ （差）

B、Cに差を足してAと同じ個数にする。それを3で割る。（A）

$(26 + 24) \div 3 = 16 \cdots 2$ （A）

ケース1は割り切れないので違う。

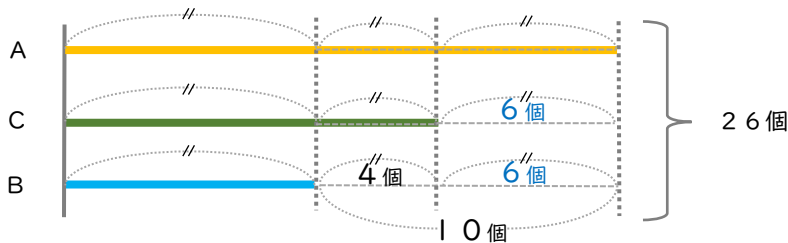
【式】

$$10 + 4 + 10 = 24$$

$$(26 + 24) \div 3 = 16 \cdots 2 \text{（A） 割り切れない}$$

〈ケース2・・・BくんがCくんより少ない場合（Cが2番目に多いとき）〉

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、26個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは10個、BくんとCくんの個数のちがいは4個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 26 (和)

AとB ちがいは 10 (差) BとC ちがいは 4 (差)

AとB+C ちがいは $10 + (10 - 4) = 16$ (差)

B、Cに差を足してAと同じ個数にする。それを3で割る。(A)

$(26 + 16) \div 3 = 14$ (A)

【式】

$$10 + (10 - 4) = 16$$

$$(26 + 16) \div 3 = 14 \text{ (A)}$$

【答え】 Aくん 14個

⑤

A, Bの2つの数があります。AはBよりも大きく、その和を3倍しても、その差を4倍しても720になります。それぞれいくつでしょうか。

$$(A + B) \times 3 = 720$$

$$(A - B) \times 4 = 720$$

$$A + B = 720 \div 3 = 240$$

$$A - B = 720 \div 4 = 180$$

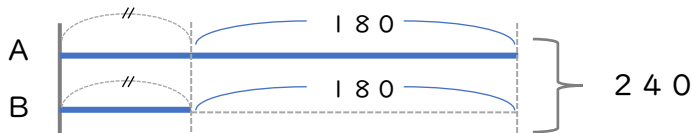
合わせて 240 (和)

ちがいは 180 (差)

求めるのは、それぞれの数

① Aから差を引いて、Bと同じ値にする。それを2で割る。(B) Bに差を足してA。

(①) Bに差を足して、Aと同じ値にする。それを2で割る。(A) Aから差を引いてB



【式】 ① $720 \div 3 = 240$

$$720 \div 4 = 180$$

$$(240 - 180) \div 2 = 30 \text{ (B)}$$

$$30 + 180 = 210 \text{ (A)}$$

【式】 (①) $720 \div 3 = 240$

$$720 \div 4 = 180$$

$$(240 + 180) \div 2 = 210 \text{ (A)}$$

$$210 - 180 = 30 \text{ (B)}$$

【答え】 A 210 B 30

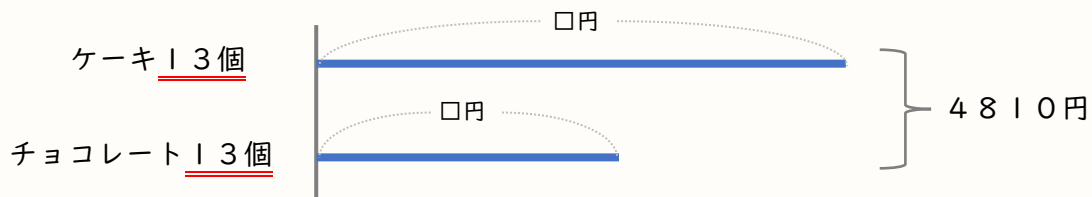
さくさく和差算・下

第13回の解答

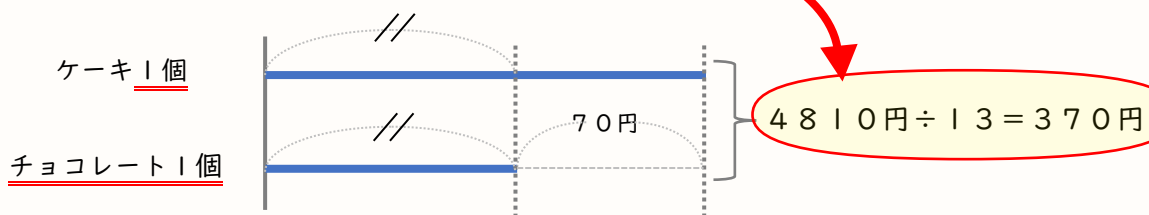
①（それぞれ1個の値を求める問題）

チョコレートとケーキを13個ずつ買うと4810円でした。チョコレートの代金はケーキの代金より70円安いそうです。1個の代金はそれぞれいくらでしょうか。

チョコレートと、ケーキそれぞれ13個ずつのとき、和は4810円



チョコレートとケーキ、それぞれ1個ずつのとき、差は70円。



$$4810円 \div 13 = 370円$$

合わせて 370円（和） ちがいは 70円（差）

求めるのは、それぞれ1個の代金（値段）。

①ケーキから差を引いて、チョコレートと同じ値にする。それを2で割る。（チョコレート）

チョコレートに差を足す。（ケーキ）

(①)チョコレートに差を足して、ケーキと同じ値にする。それを2で割る。（ケーキ）

ケーキから差を引く。（チョコレート）

【式】① $4810 \div 13 = 370$ (各1個の和)

$(370 - 70) \div 2 = 150$ (チョコレート)

$150 + 70 = 220$ (ケーキ)

(①) $4810 \div 13 = 370$ (各1個の和)

$(370 + 70) \div 2 = 220$ (ケーキ)

$220 - 70 = 150$ (チョコレート)

【答え】 チョコレート 150円 ケーキ 220円

② (和が3つある問題)

3つの整数A、B、Cがあります。AとBの和が122、BとCの和が106、AとCの和が110のとき、Bはいくつになりますか。

AとBの和が122

BとCの和が106

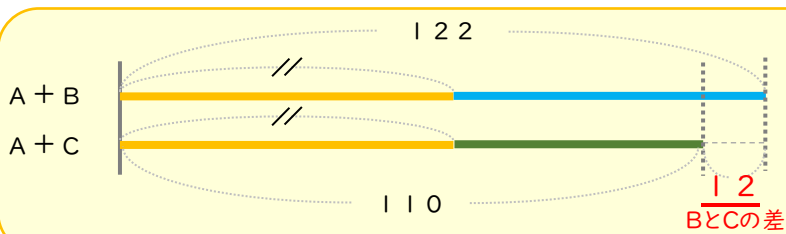
AとCの和が110

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が122 と AとCの和が110よりBとCの差を求める。



和と差が
分かる



求めるのはBの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・BとC 合わせて 60 (和) BとC ちがいは 12 (差)

Cに差を足して、Bと同じ長さにする。それを2で割る。(B)

【式】 $122 - 110 = 12$ (BとCの差)

$(106 + 12) \div 2 = 59$ (B)

【答え】 B 59

※その他の方法

AとBの和が 122

BとCの和が 106

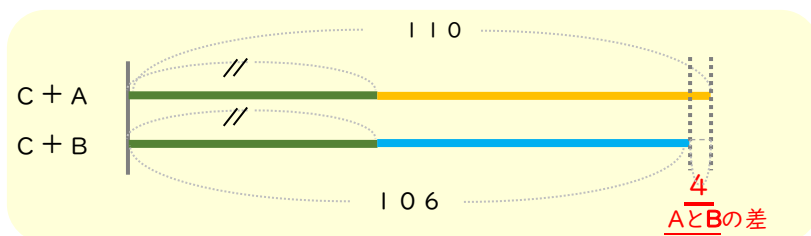
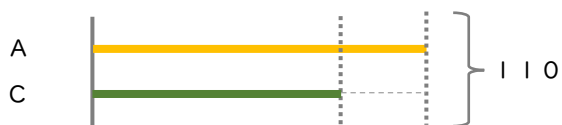
AとCの和が 110

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ BとCの和が 106 と AとCの和が 110 よりAとBの差を求める。



和と差が分かる



求めるのはBの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・AとB 合わせて 122 (和) AとB ちがいは 4 (差)

Aから差を引いて、Bと同じ長さにする。それを2で割る。(B)

【式】 $110 - 106 = 4$ (AとBの差)

$(122 - 4) \div 2 = 59$ (B)

【答え】 B 59

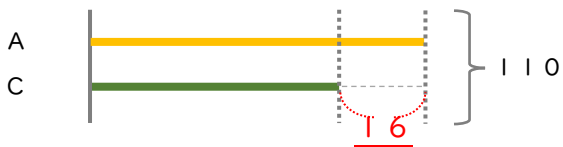
AとBの和が 122

BとCの和が 106

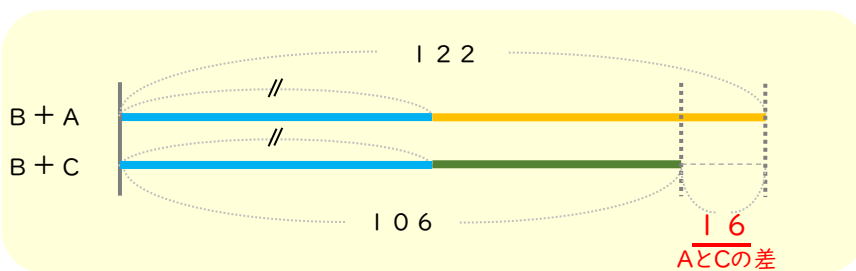
AとCの和が 110

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が 122 と BとCの和が 106 よりAとCの差を求める。



和と差が
分かる



求めるのはBの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・AとC 合わせて 110 (和) AとC ちがいは 16 (差)

Aから差を引いて、Cと同じ長さにする。それを2で割る。(C) Cに差を足す。(A)

$$A + B = 122 \text{ なので } 122 - A = B$$

$$B + C = 106 \text{ なので } 106 - C = B$$

【式】 $122 - 106 = 16$ (AとCの差)

$$(110 - 16) \div 2 = 47 \text{ (C)}$$

$$47 + 16 = 63 \text{ (A)}$$

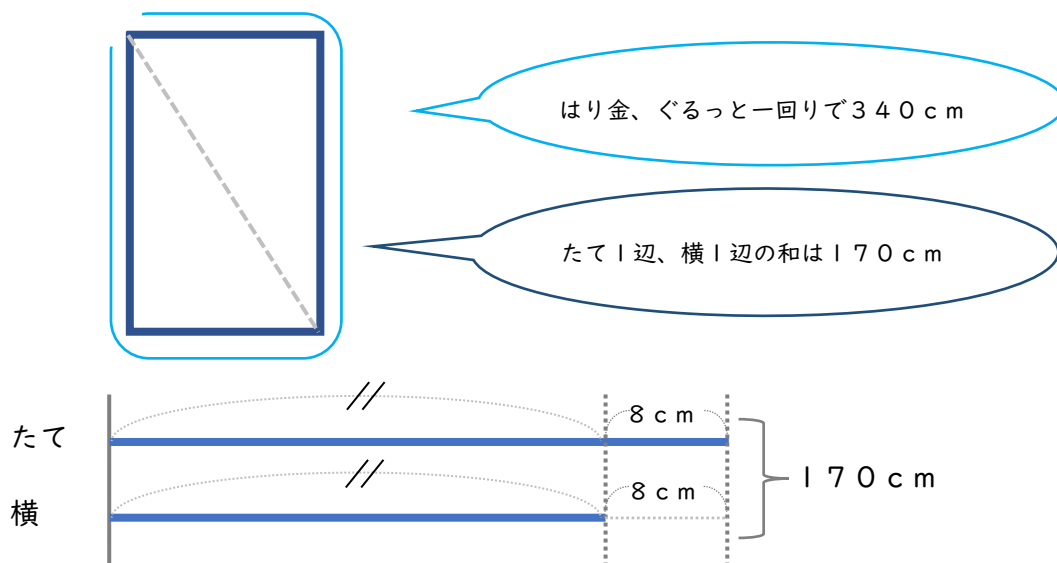
$$122 - 63 = 59 \text{ (B)}$$

$$106 - 47 = 59 \text{ (B)}$$

【答え】 B 59

③（長方形の問題）

長さが340cmあるはり金を折り曲げて、横の長さがたての長さより8cm長い長方形をつくりました。この長方形の面積を求めましょう。



合わせて 170cm (和) ちがいは 8cm (差)

求めるのは、長方形面積。

- ① たてから差を引いて、横と同じ長さにする。それを2で割る。(横) 横に差を足す。(たて)
 (①) 横に差を足して、たてと同じ長さにする。それを2で割る。(たて) たてから差を引く。(横)

【式】 ① $340 \div 2 = 170$
 $(170 - 8) \div 2 = 81$ (横)
 $81 + 8 = 89$ (たて)
 $81 \times 89 = 7209$

(①) $340 \div 2 = 170$
 $(170 + 8) \div 2 = 89$ (たて)
 $89 - 8 = 81$ (横)
 $89 \times 81 = 7209$

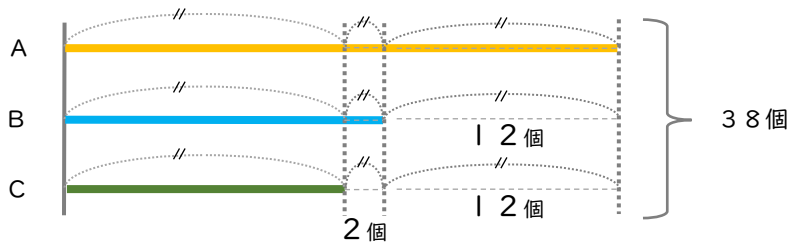
【答え】 7209cm²

④（割り切れる場合を考える問題）

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、38個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは12個、BくんとCくんの個数のちがいは2個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。

線分図は2通りできる。線分図より答えを求め、割り切れた方が正解。

〈ケース1・・・BくんがCくんより多いとき（Bが2番目に多いとき）〉



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 38（和）

AとB ちがいは 12（差） BとC ちがいは 2（差）

AとB+C ちがいは $12 + 2 + 12 = 26$ （差）

B、Cに差を足してAと同じ個数にする。それを3で割る。（A）

$(38 + 26) \div 3 = 21 \cdots 1$ （A）

ケース1は割り切れないので違う。

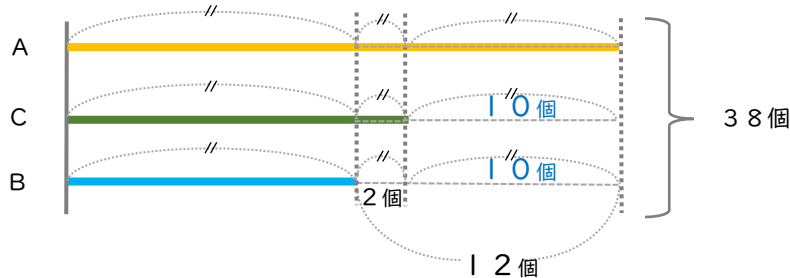
【式】

$$12 + 2 + 12 = 26$$

$$(38 + 26) \div 3 = 21 \cdots 1 \text{（A） 割り切れない}$$

〈ケース2・・・BくんがCくんより少ない場合（Cが2番目に多いとき）〉

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、38個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは12個、BくんとCくんの個数のちがいは2個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 38 (和)

AとB ちがいは 12 (差) BとC ちがいは 2 (差)

AとB+C ちがいは $12 + (12 - 2) = 22$ (差)

B、Cに差を足して **Aと同じ個数にする**。それを3で割る。(A)

$(38 + 22) \div 3 = 20$ (A)

【式】

$$12 + (12 - 2) = 22$$

$$(38 + 22) \div 3 = 20 \text{ (A)}$$

【答え】 Aくん 20個

⑤

A, Bの2つの数があります。AはBよりも大きく、その和を3倍しても、その差を7倍しても1092になります。それぞれいくつでしょうか。

$$(A + B) \times 3 = 1092$$

$$(A - B) \times 7 = 1092$$

$$A + B = 1092 \div 3 = 364$$

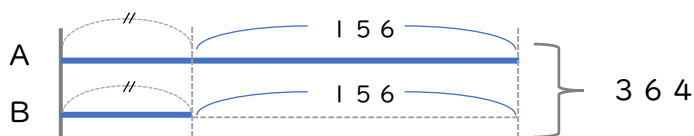
$$A - B = 1092 \div 7 = 156$$

合わせて 364 (和) ちがいは 156 (差)

求めるのは、それぞれの数

① Aから差を引いて、Bと同じ値にする。それを2で割る。(B) Bに差を足してA。

(①) Bに差を足して、Aと同じ値にする。それを2で割る。(A) Aから差を引いてB



【式】 ① $1092 \div 3 = 364$

$$1092 \div 7 = 156$$

$$(364 - 156) \div 2 = 104 \text{ (B)}$$

$$104 + 156 = 260 \text{ (A)}$$

【式】 (①) $1092 \div 3 = 364$

$$1092 \div 7 = 156$$

$$(364 + 156) \div 2 = 260 \text{ (A)}$$

$$260 - 156 = 104 \text{ (B)}$$

【答え】 A 260 B 104

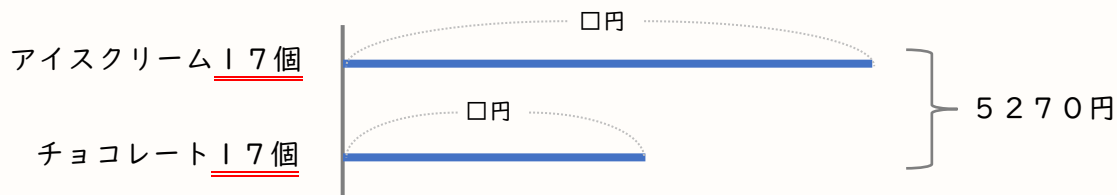
さくさく和差算・下

第14回の解答

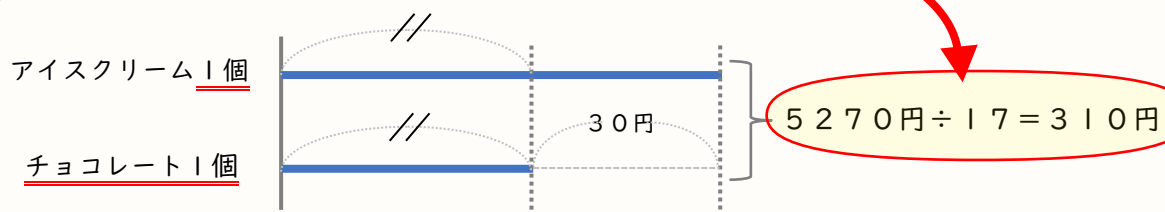
①（それぞれ1個の値を求める問題）

チョコレートとアイスクリームをこず17個ずつ買うと5270円でした。チョコレートの代金がアイスクリームの代金より30円安いとき、1個の代金はそれぞれいくらでしょうか。

チョコレートとアイスクリームをそれぞれ17個ずつのとき、和は5270円



チョコレートとアイスクリーム、それぞれ1個ずつのとき、差は30円。



合わせて 310円（和） ちがいは 30円（差）

求めるのは、それぞれ1個の代金（値段）。

①アイスクリームから差を引いて、チョコレートと同じ値にする。それを2で割る。（チョコレート）
チョコレートに差を足す。（アイスクリーム）

(①)チョコレートに差を足して、アイスクリームと同じ値にする。それを2で割る。（アイスクリーム）
アイスクリームから差を引く。（チョコレート）

【式】① $5270 \div 17 = 310$ (各1個の和)
 $(310 - 30) \div 2 = 140$ (チョコレート)
 $140 + 30 = 170$ (アイスクリーム)

(①) $5270 \div 17 = 310$ (各1個の和)
 $(310 + 30) \div 2 = 170$ (アイスクリーム)
 $170 - 30 = 140$ (チョコレート)

【答え】 チョコレート 140円 アイスクリーム 170円

② (和が3つある問題)

3つの整数A、B、Cがあります。AとBの和が121、BとCの和が44、AとCの和が115のとき、Bはいくつになりますか。

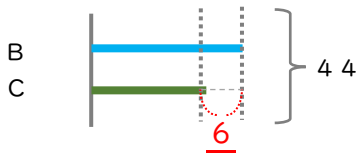
AとBの和が121

BとCの和が44

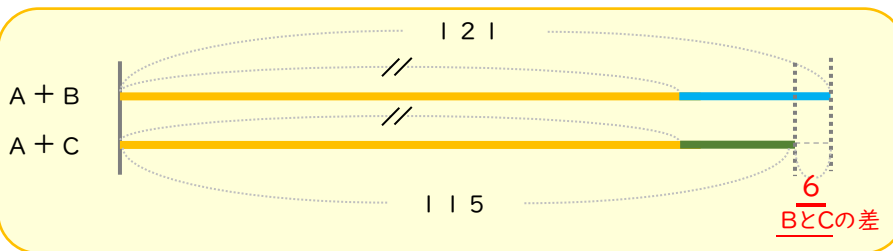
AとCの和が115

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が121 と AとCの和が115よりBとCの差を求める。



和と差が
分かる



求めるのはBの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・BとC 合わせて 44 (和) BとC ちがいは 6 (差)

Cに差を足して、Bと同じ長さにする。それを2で割る。(B)

【式】 $121 - 115 = 6$ (BとCの差)

$(44 + 6) \div 2 = 25$ (B)

【答え】 B 25

※その他の方法

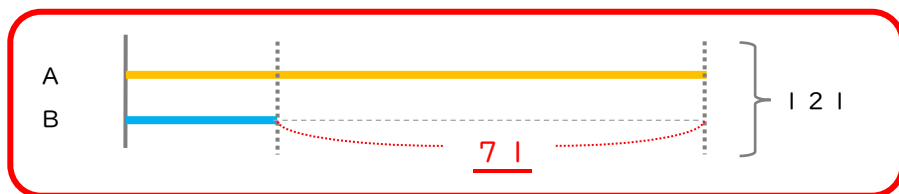
AとBの和が 121

BとCの和が 44

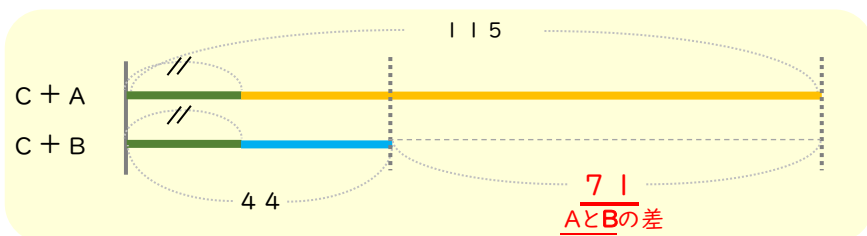
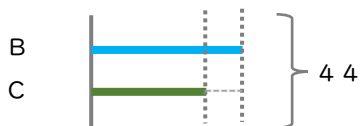
AとCの和が 115

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ BとCの和が 44 と AとCの和が 115 よりAとBの差を求める。



和と差が
分かる



求めるのはBの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・AとB 合わせて 121 (和) AとB ちがいは 71 (差)

Aから差を引いて、Bと同じ長さにする。それを2で割る。(B)

【式】 $115 - 44 = 71$ (AとBの差)

$(121 - 71) \div 2 = 25$ (B)

【答え】 B 25

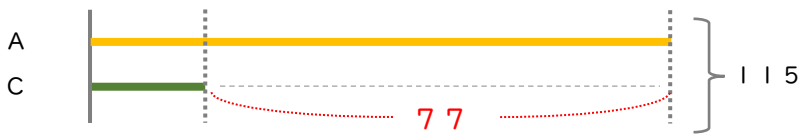
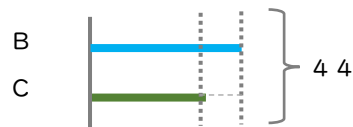
AとBの和が 121

BとCの和が 44

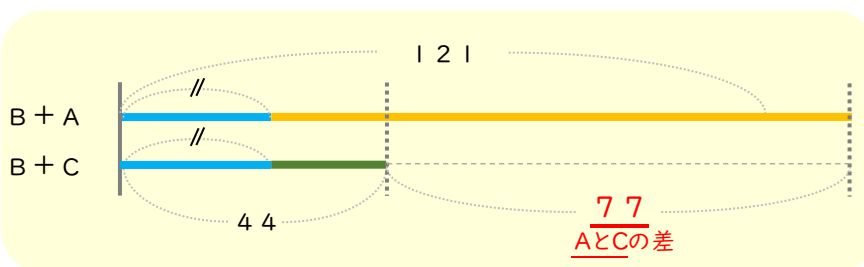
AとCの和が 115

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が 121 と BとCの和が 44 よりAとCの差を求める。



和と差が
分かる



求めるのはBの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・AとC 合わせて 115 (和) AとC ちがいは 77 (差)

Aから差を引いて、Cと同じ長さにする。それを2で割る。(C) Cに差を足す。(A)

$A + B = 121$ なので $121 - A = B$

$B + C = 44$ なので $44 - C = B$

【式】 $121 - 44 = 77$ (AとCの差)

$(115 - 77) \div 2 = 19$ (C)

$19 + 77 = 96$ (A)

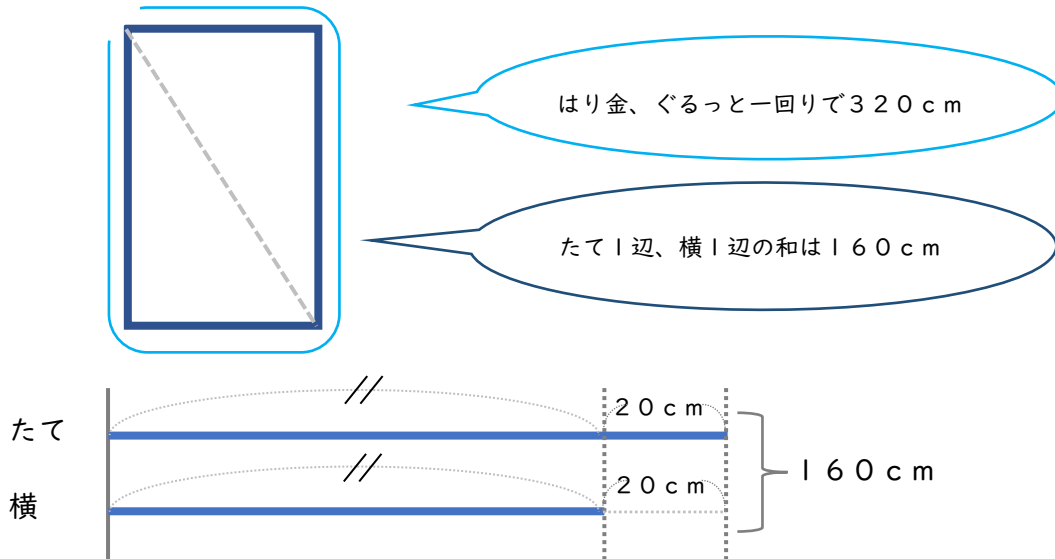
$121 - 96 = 25$ (B)

$44 - 19 = 25$ (B)

【答え】 B 25

③（長方形の問題）

長さが320cmあるはり金を折り曲げて、横の長さがたての長さより20cm短い長方形をつきました。この長方形の面積を求めましょう。



合わせて 160cm (和) ちがいは 20cm (差)

求めるのは、長方形面積。

① たてから差を引いて、横と同じ長さにする。それを2で割る。(横) 横に差を足す。(たて)

(①) 横に差を足して、たてと同じ長さにする。それを2で割る。(たて) たてから差を引く。(横)

【式】 ① $320 \div 2 = 160$

$(160 - 20) \div 2 = 70$ (横)

$70 + 20 = 90$ (たて)

$70 \times 90 = 6300$

(①) $320 \div 2 = 160$

$(160 + 20) \div 2 = 90$ (たて)

$90 - 20 = 70$ (横)

$90 \times 70 = 6300$

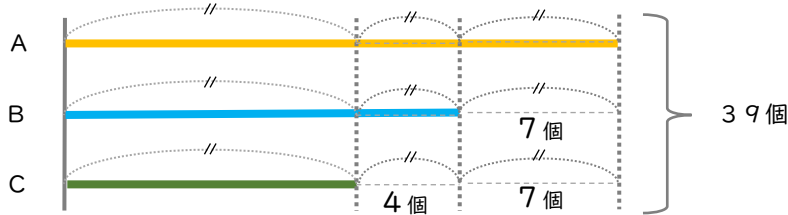
【答え】 6300cm²

④（割り切れる場合を考える問題）

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、39個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは7個、BくんとCくんの個数のちがいは4個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。

線分図は2通りできる。線分図より答えを求め、割り切れた方が正解。

〈ケース1・・・BくんがCくんより多いとき（Bが2番目に多いとき）〉



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 39（和）

AとB ちがいは 7（差） BとC ちがいは 4（差）

AとB+C ちがいは 7+4+7=18（差）

B、Cに差を足してAと同じ個数にする。それを3で割る。（A）

$(39 + 18) \div 3 = 19$ （A）

【式】

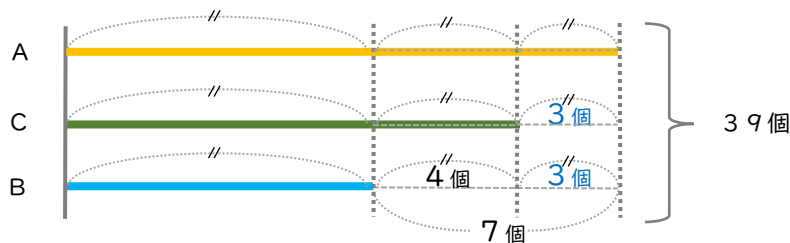
$$7 + 4 + 7 = 18$$

$$(39 + 18) \div 3 = 19 \text{（A）}$$

【答え】 Aくん 19個

〈ケース2・・・BくんがCくんより少ない場合（Cが2番目に多いとき）〉

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、39個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは7個、BくんとCくんの個数のちがいは4個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 39 (和)

AとB ちがいは 7 (差) BとC ちがいは 4 (差)

AとB+C ちがいは $7 + (7 - 4) = 10$ (差)

B、Cに差を足してAと同じ個数にする。それを3で割る。(A)

$(39 + 10) \div 3 = 16 \dots 1$ (A) 割り切れない

ケース2は割り切れないので違う

【式】

$$7 + (7 - 4) = 10$$

$$(39 + 10) \div 3 = 16 \dots 1 \text{ (A) 割り切れないので違う}$$

⑤

A, Bの2つの数があります。AはBよりも大きく、その和を2倍しても、その差を8倍しても704になります。それぞれいくつでしょうか。

$$(A + B) \times 2 = 704$$

$$(A - B) \times 8 = 704$$

$$A + B = 704 \div 2 = 352$$

$$A - B = 704 \div 8 = 88$$

合わせて 352 (和) ちがいは 88 (差)

求めるのは、それぞれの数

① Aから差を引いて、Bと同じ値にする。それを2で割る。(B) Bに差を足してA。

(①) Bに差を足して、Aと同じ値にする。それを2で割る。(A) Aから差を引いてB



【式】 ① $704 \div 2 = 352$

$$704 \div 8 = 88$$

$$(352 - 88) \div 2 = 132 \text{ (B)}$$

$$132 + 88 = 220 \text{ (A)}$$

【式】 (①) $704 \div 2 = 352$

$$704 \div 8 = 88$$

$$(352 + 88) \div 2 = 220 \text{ (A)}$$

$$220 - 88 = 132 \text{ (B)}$$

【答え】 A 220 B 132

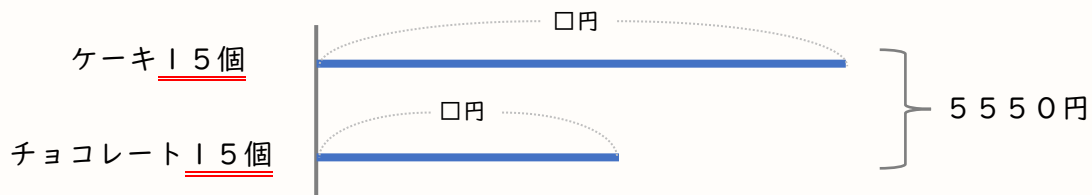
さくさく和差算・下

第15回の解答

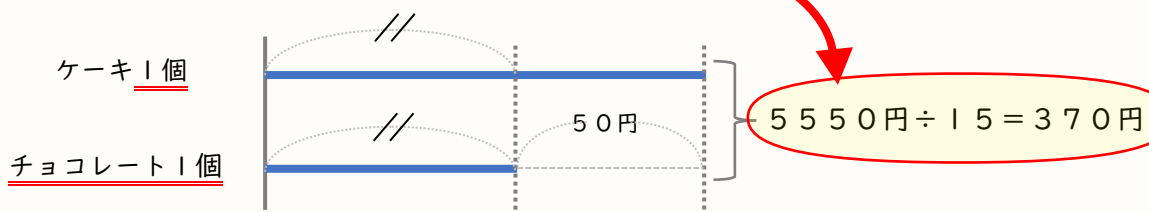
①（それぞれ1個の値を求める問題）

チョコレートとケーキを15個ずつ買うと5550円でした。チョコレートの代金はケーキの代金より50円安いそうです。1個の代金はそれぞれいくらでしょうか。

チョコレートと、ケーキそれぞれ12個ずつのとき、和は5550円



チョコレートとケーキ、それぞれ1個ずつのとき、差は50円。



合わせて 370円（和） ちがいは 50円（差）

求めるのは、それぞれ1個の代金（値段）。

①ケーキから差を引いて、チョコレートと同じ値にする。それを2で割る。（チョコレート）

チョコレートに差を足す。（ケーキ）

(①)チョコレートに差を足して、ケーキと同じ値にする。それを2で割る。（ケーキ）

ケーキから差を引く。（チョコレート）

【式】① $5550 \div 15 = 370$ (各1個の和)

$(370 - 50) \div 2 = 160$ (チョコレート)

$160 + 50 = 210$ (ケーキ)

(①) $5550 \div 15 = 370$ (各1個の和)

$(370 + 50) \div 2 = 210$ (ケーキ)

$210 - 50 = 160$ (チョコレート)

【答え】 チョコレート 160円 ケーキ 210円

② (和が3つある問題)

3つの整数A、B、Cがあります。AとBの和が66、BとCの和が46、AとCの和が54のとき、Bはいくつになりますか。

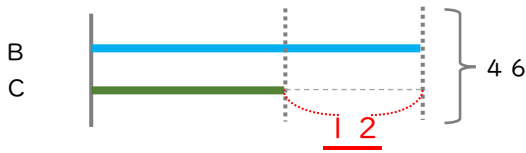
AとBの和が66

BとCの和が46

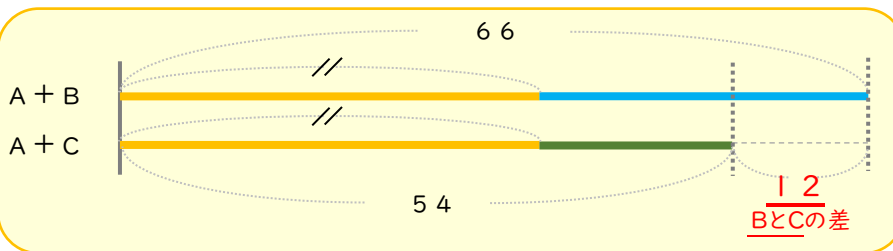
AとCの和が54

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が66 と AとCの和が54よりBとCの差を求める。



和と差が
分かる



求めるのはBの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・BとC 合わせて 46 (和) BとC ちがいは 12 (差)

Cに差を足して、Bと同じ長さにする。それを2で割る。(B)

【式】 $66 - 54 = 12$ (BとCの差)

$(46 + 12) \div 2 = 29$ (B)

【答え】 B 29

※その他の方法

AとBの和が66

BとCの和が46

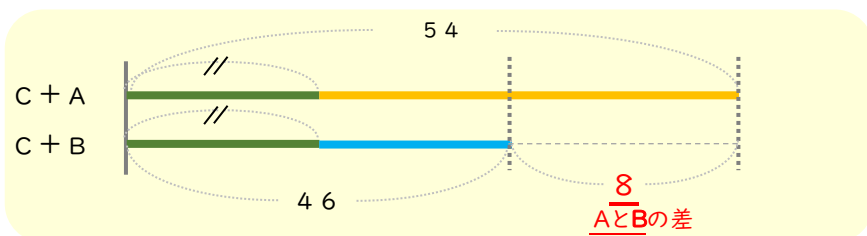
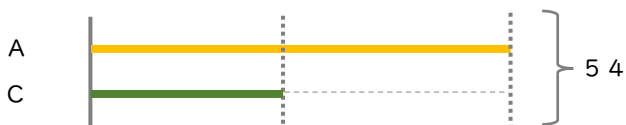
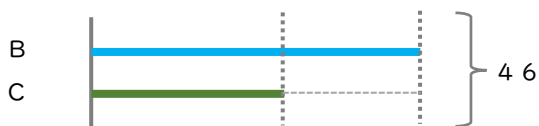
AとCの和が54

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ BとCの和が46 と AとCの和が54 よりAとBの差を求める。



和と差が
分かる



求めるのはBの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・AとB 合わせて 66 (和) AとB ちがいは 8 (差)

Aから差を引いて、Bと同じ長さにする。それを2で割る。(B)

【式】 $54 - 46 = 8$ (AとBの差)

$(66 - 8) \div 2 = 29$ (B)

【答え】 B 29

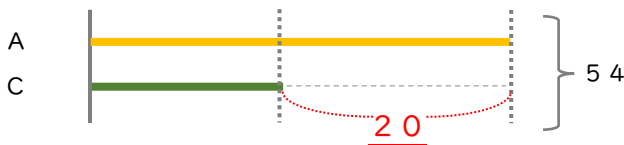
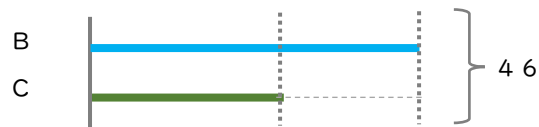
AとBの和が66

BとCの和が46

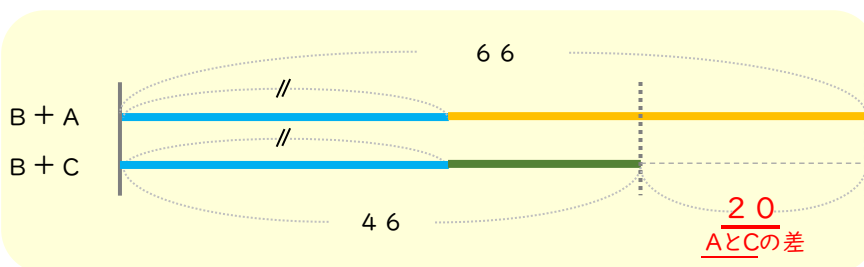
AとCの和が54

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が66 と BとCの和が46 よりAとCの差を求める。



和と差が
分かる



求めるのはBの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・AとC 合わせて 54 (和) AとC ちがいは 20 (差)

Aから差を引いて、Cと同じ長さにする。それを2で割る。(C) Cに差を足す。(A)

$$A + B = 66 \text{ なので } 66 - A = B$$

$$B + C = 46 \text{ なので } 46 - C = B$$

【式】 $66 - 46 = 20$ (AとCの差)

$$(54 - 20) \div 2 = 17 \text{ (C)}$$

$$17 + 20 = 37 \text{ (A)}$$

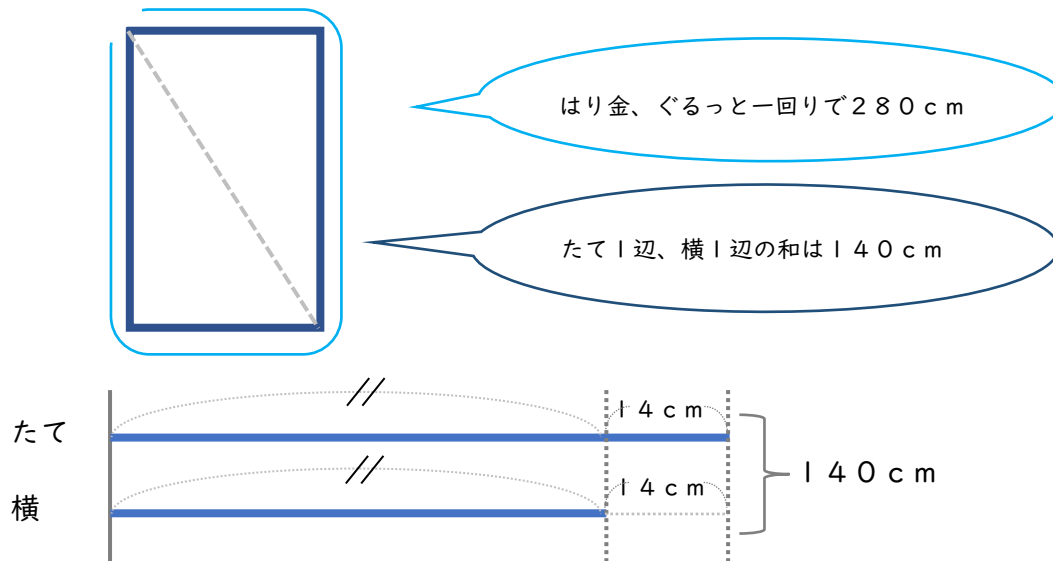
$$66 - 37 = 29 \text{ (B)}$$

$$46 - 17 = 29 \text{ (B)}$$

【答え】 B 29

③（長方形の問題）

長さが280cmあるはり金を折り曲げて、横の長さがたての長さより14cm短い長方形をつきました。この長方形の面積を求めましょう。



合わせて 140cm (和) ちがいは 14cm (差)

求めるのは、長方形面積。

①たてから差を引いて、横と同じ長さにする。それを2で割る。(横) 横に差を足す。(たて)

(①)横に差を足して、たてと同じ長さにする。それを2で割る。(たて) たてから差を引く。(横)

【式】 ① $280 \div 2 = 140$

$(140 - 14) \div 2 = 63$ (横)

$63 + 14 = 77$ (たて)

$63 \times 77 = 4851$

(①) $280 \div 2 = 140$

$(140 + 14) \div 2 = 77$ (たて)

$77 - 14 = 63$ (横)

$77 \times 63 = 4851$

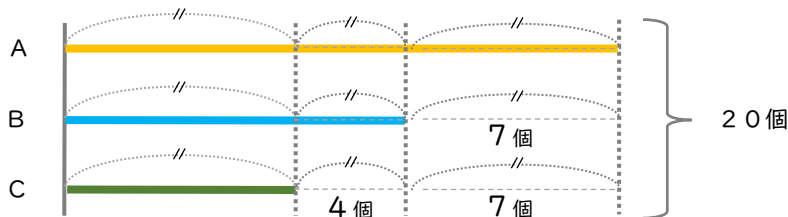
【答え】 4851 cm²

④（割り切れる場合を考える問題）

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、20個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは7個、BくんとCくんの個数のちがいは4個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。

線分図は2通りできる。線分図より答えを求め、割り切れた方が正解。

〈ケース1・・・BくんがCくんより多いとき（Bが2番目に多いとき）〉



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 20（和）

AとB ちがいは 7（差） BとC ちがいは 4（差）

AとB+C ちがいは $7 + 4 + 7 = 18$ （差）

B、Cに差を足してAと同じ個数にする。それを3で割る。（A）

$(20 + 18) \div 3 = 12 \cdots 2$ （A）

ケース1は割り切れないので違う。

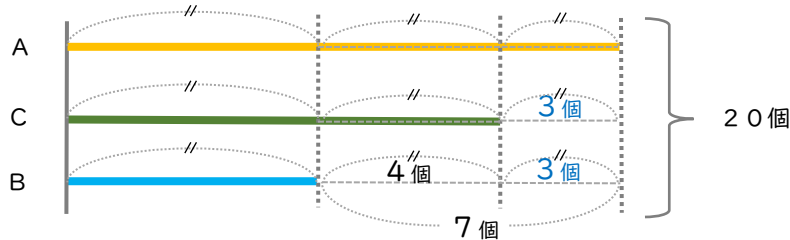
【式】

$$7 + 4 + 7 = 18$$

$$(20 + 18) \div 3 = 12 \cdots 2 \text{（A） 割り切れない}$$

〈ケース2・・・BくんがCくんより少ない場合（Cが2番目に多いとき）〉

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、20個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは7個、BくんとCくんの個数のちがいは4個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 20 (和)

AとB ちがいは 7 (差) BとC ちがいは 4 (差)

AとB+C ちがいは $7 + (7 - 4) = 10$ (差)

B、Cに差を足してAと同じ個数にする。それを3で割る。(A)

$(20 + 10) \div 3 = 10$ (A)

【式】

$$7 + (7 - 4) = 10$$

$$(20 + 10) \div 3 = 10 \text{ (A)}$$

【答え】 Aくん 10個

⑤

A, Bの2つの数があります。AはBよりも大きく、その和を4倍しても、その差を10倍しても920になります。それぞれいくつでしょうか。

$$(A + B) \times 4 = 920$$

$$(A - B) \times 10 = 920$$

$$A + B = 920 \div 4 = 230$$

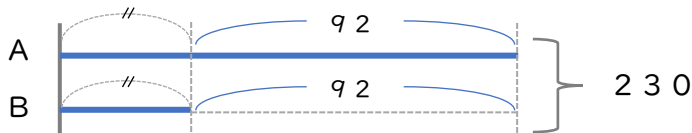
$$A - B = 920 \div 10 = 92$$

合わせて 230 (和) ちがいは 92 (差)

求めるのは、それぞれの数

① Aから差を引いて、Bと同じ値にする。それを2で割る。(B) Bに差を足してA。

(①) Bに差を足して、Aと同じ値にする。それを2で割る。(A) Aから差を引いてB



【式】 ① $920 \div 4 = 230$

$$920 \div 10 = 92$$

$$(230 - 92) \div 2 = 69 \text{ (B)}$$

$$69 + 92 = 161 \text{ (A)}$$

【式】 (①) $920 \div 4 = 230$

$$920 \div 10 = 92$$

$$(230 + 92) \div 2 = 161 \text{ (A)}$$

$$161 - 92 = 69 \text{ (B)}$$

【答え】 A 161 B 69

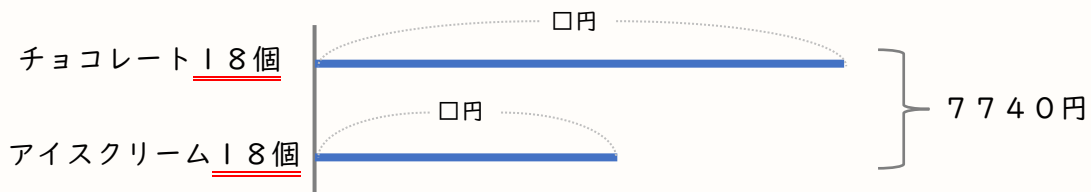
さくさく和差算・下

第16回の解答

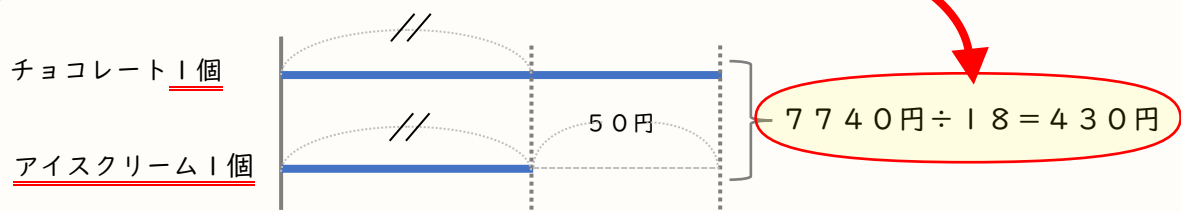
①（それぞれ1個の値を求める問題）

チョコレートとアイスクリームを18個ずつ買うと7740円でした。チョコレートの代金がアイスクリームの代金より50円高いとき、1個の代金はそれぞれいくらでしょう。

チョコレートと、アイスクリームそれぞれ18個ずつのとき、和は7740円



チョコレートとアイスクリーム、それぞれ1個ずつのとき、差は50円。



$$7740 \text{ 円} \div 18 = 430 \text{ 円}$$

合わせて 430円（和） ちがいは 50円（差）

求めるのは、それぞれ1個の代金（値段）。

- ①チョコレートから差を引いて、アイスクリームと同じ値にする。それを2で割る。（アイスクリーム）
アイスクリームに差を足す。（チョコレート）
(①)アイスクリームに差を足して、チョコレートと同じ値にする。それを2で割る。（チョコレート）
チョコレートから差を引く。（アイスクリーム）

【式】① $7740 \div 18 = 430$ (各1個の和)

$(430 - 50) \div 2 = 190$ (アイスクリーム)

$190 + 50 = 240$ (チョコレート)

(①) $7740 \div 18 = 430$ (各1個の和)

$(430 + 50) \div 2 = 240$ (チョコレート)

$240 - 50 = 190$ (アイスクリーム)

【答え】 チョコレート 240円 アイスクリーム 190円

② (和が3つある問題)

3つの整数A、B、Cがあります。AとBの和が73、BとCの和が60、AとCの和が71のとき、Bはいくつになりますか。

AとBの和が73

BとCの和が60

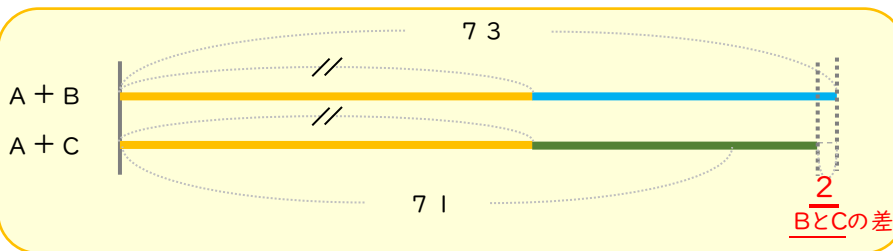
AとCの和が71

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が73 と AとCの和が71よりBとCの差を求める。



和と差が
分かる



求めるのはBの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・BとC 合わせて 60 (和) BとC ちがいは 2 (差)

Cに差を足して、Bと同じ長さにする。それを2で割る。(B)

【式】 $73 - 71 = 2$ (BとCの差)

$(60 + 2) \div 2 = 31$ (B)

【答え】 B 31

※その他の方法

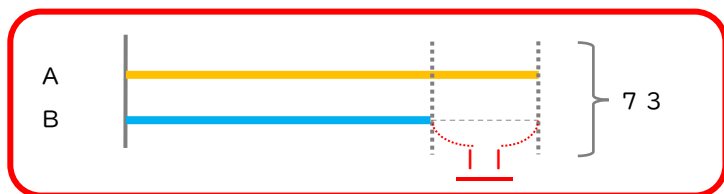
AとBの和が73

BとCの和が60

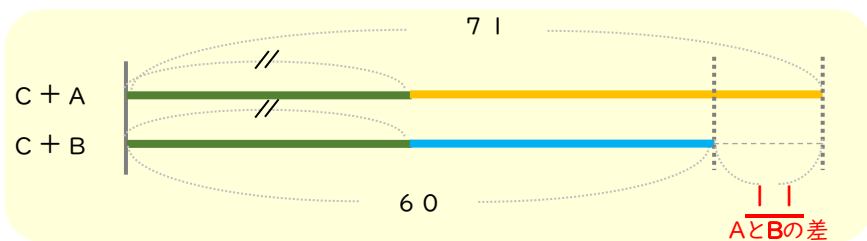
AとCの和が71

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ BとCの和が60 と AとCの和71 よりAとBの差を求める。



和と差が
分かる



求めるのはBの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・AとB 合わせて 73 (和) AとB ちがいは 11 (差)

Aから差を引いて、Bと同じ長さにする。それを2で割る。(B)

【式】 $71 - 60 = 11$ (AとBの差)

$(73 - 11) \div 2 = 31$ (B)

【答え】 B 31

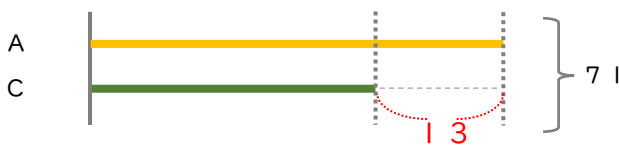
AとBの和が73

BとCの和が60

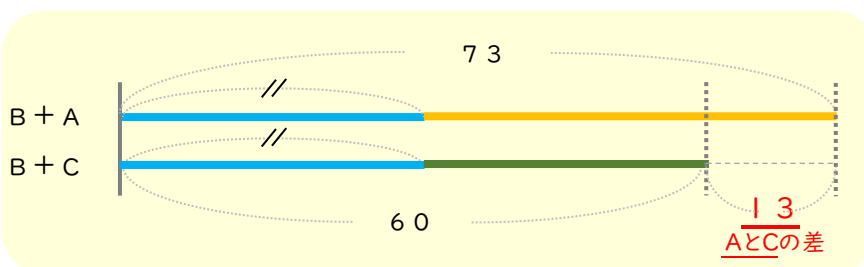
AとCの和が71

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が73 と BとCの和が60 よりAとCの差を求める。



和と差が
分かる



求めるのはBの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・AとC 合わせて 71 (和) AとC ちがいは 13 (差)

Aから差を引いて、Cと同じ長さにする。それを2で割る。(C) Cに差を足す。(A)

A + B = 73なので $73 - A = B$

B + C = 60なので $60 - C = B$

【式】 $73 - 60 = 13$ (AとCの差)

$(71 - 13) \div 2 = 29$ (C)

$29 + 13 = 42$ (A)

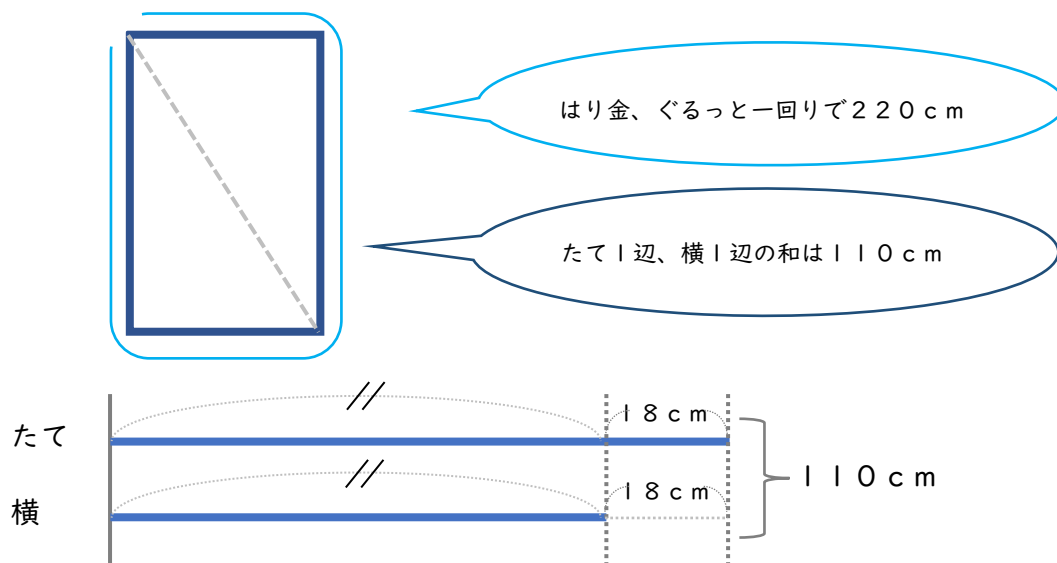
$73 - 42 = 31$ (B)

$60 - 29 = 31$ (B)

【答え】 B 31

③（長方形の問題）

長さが220cmあるはり金を折り曲げて長方形を作ります。横の長さをたての長さより18cm短くするとき、この長方形の面積を求めましょう。



合わせて 110cm (和) ちがいは 18cm (差)

求めるのは、長方形面積。

①たてから差を引いて、横と同じ長さにする。それを2で割る。(横) 横に差を足す。(たて)
 (①)横に差を足して、たてと同じ長さにする。それを2で割る。(たて) たてから差を引く。(横)

【式】① $220 \div 2 = 110$

$(110 - 18) \div 2 = 46$ (横)

$46 + 18 = 64$ (たて)

$46 \times 64 = 2944$

(①) $220 \div 2 = 110$

$(110 + 18) \div 2 = 64$ (たて)

$64 - 18 = 46$ (横)

$64 \times 46 = 2944$

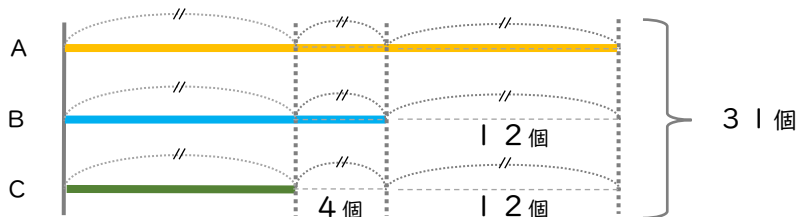
【答え】 2944 cm²

④（割り切れる場合を考える問題）

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、31個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは12個、BくんとCくんの個数のちがいは4個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。

線分図は2通りできる。線分図より答えを求め、割り切れた方が正解。

〈ケース1・・・BくんがCくんより多いとき（Bが2番目に多いとき）〉



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 31（和）

AとB ちがいは 12（差） BとC ちがいは 4（差）

AとB+C ちがいは $12 + 4 + 12 = 28$ （差）

B、Cに差を足してAと同じ個数にする。それを3で割る。（A）

$(31 + 28) \div 3 = 19 \cdots 2$ （A）

ケース1は割り切れないので違う。

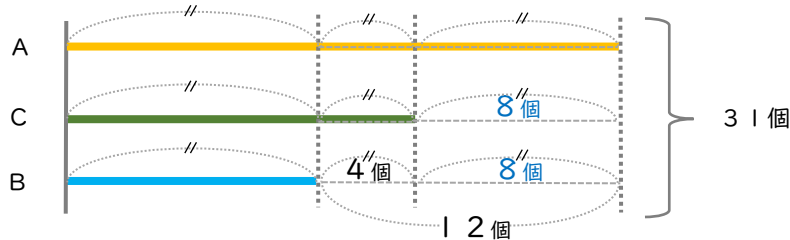
【式】

$$12 + 4 + 12 = 28$$

$$(31 + 28) \div 3 = 19 \cdots 2 \text{（A） 割り切れない}$$

〈ケース2・・・BくんがCくんより少ない場合（Cが2番目に多いとき）〉

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、31個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは12個、BくんとCくんの個数のちがいは4個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 31 (和)

AとB ちがいは 12 (差) BとC ちがいは 4 (差)

AとB+C ちがいは $12 + (12 - 4) = 20$ (差)

B、Cに差を足してAと同じ個数にする。それを3で割る。(A)

$(31 + 20) \div 3 = 17$ (A)

【式】

$$12 + (12 - 4) = 20$$

$$(31 + 20) \div 3 = 17 \text{ (A)}$$

【答え】 Aくん 17個

⑤

A, Bの2つの数があります。AはBよりも大きく、その和を4倍しても、その差を8倍しても2880になります。それぞれいくつでしょうか。

$$(A + B) \times 4 = 2880$$

$$(A - B) \times 8 = 2880$$

$$A + B = 2880 \div 4 = 720$$

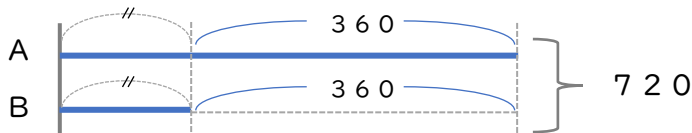
$$A - B = 2880 \div 8 = 360$$

合わせて 720 (和) ちがいは 360 (差)

求めるのは、それぞれの数

① Aから差を引いて、Bと同じ値にする。それを2で割る。(B) Bに差を足してA。

(①) Bに差を足して、Aと同じ値にする。それを2で割る。(A) Aから差を引いてB



【式】 ① $2880 \div 4 = 720$

$$2880 \div 8 = 360$$

$$(720 - 360) \div 2 = 180 \text{ (B)}$$

$$180 + 360 = 540 \text{ (A)}$$

【式】 (①) $2880 \div 4 = 720$

$$2880 \div 8 = 360$$

$$(720 + 360) \div 2 = 540 \text{ (A)}$$

$$540 - 360 = 180 \text{ (B)}$$

【答え】 A 540 B 180

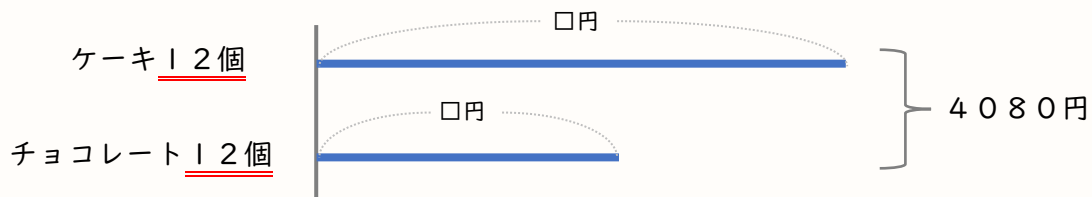
さくさく和差算・下

第17回の解答

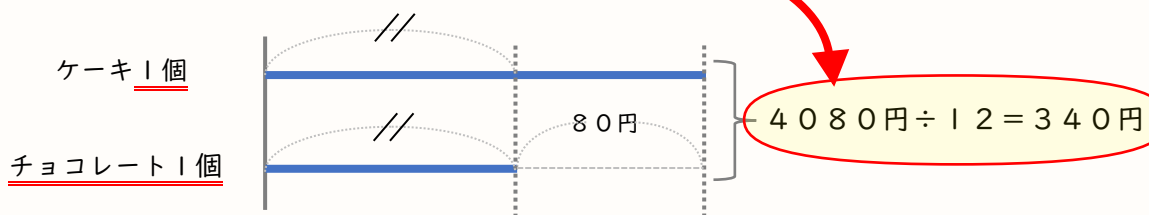
①（それぞれ1個の値を求める問題）

チョコレートとケーキを12個ずつ買うと4080円でした。チョコレートの代金はケーキの代金より80円安いそうです。1個の代金はそれぞれいくらでしょうか。

チョコレートと、ケーキそれぞれ12個ずつのとき、和は4080円



チョコレートとケーキ、それぞれ1個ずつのとき、差は80円。



合わせて 340円（和） ちがいは 80円（差）

求めるのは、それぞれ1個の代金（値段）。

①ケーキから差を引いて、チョコレートと同じ値にする。それを2で割る。（チョコレート）

チョコレートに差を足す。（ケーキ）

(①)チョコレートに差を足して、ケーキと同じ値にする。それを2で割る。（ケーキ）

ケーキから差を引く。（チョコレート）

【式】① $4080 \div 12 = 340$ (各1個の和)

$(340 - 80) \div 2 = 130$ (チョコレート)

$130 + 80 = 210$ (ケーキ)

(①) $4080 \div 12 = 340$ (各1個の和)

$(340 + 80) \div 2 = 210$ (ケーキ)

$210 - 80 = 130$ (チョコレート)

【答え】 チョコレート 130円 ケーキ 210円

② (和が3つある問題)

3つの整数A、B、Cがあります。AとBの和が113、BとCの和が77、AとCの和が104のとき、Bはいくつになりますか。

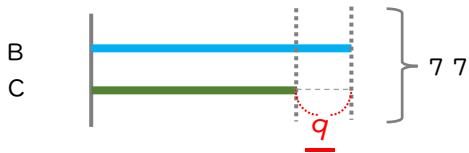
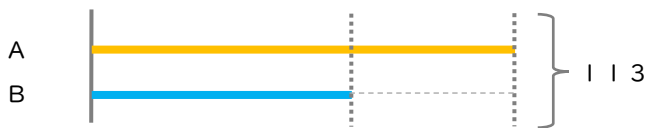
AとBの和が113

BとCの和が77

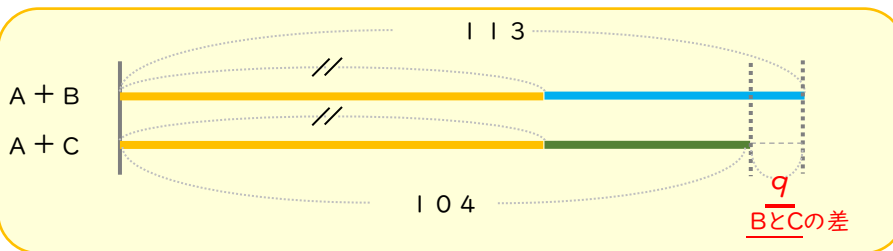
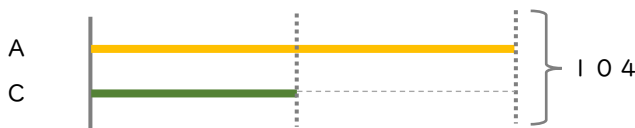
AとCの和が104

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が113 と AとCの和が104よりBとCの差を求める。



和と差が
分かる



求めるのはBの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・BとC 合わせて 77 (和) BとC ちがいは 9 (差)

Cに差を足して、Bと同じ長さにする。それを2で割る。(B)

【式】 $113 - 104 = 9$ (BとCの差)

$(77 + 9) \div 2 = 43$ (B)

【答え】 B 43

※その他の方法

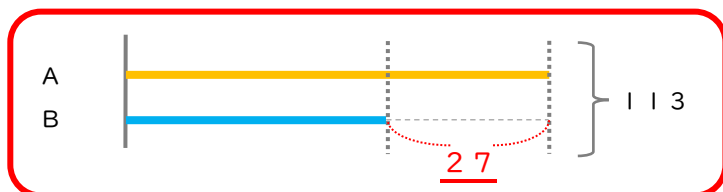
AとBの和が113

BとCの和が77

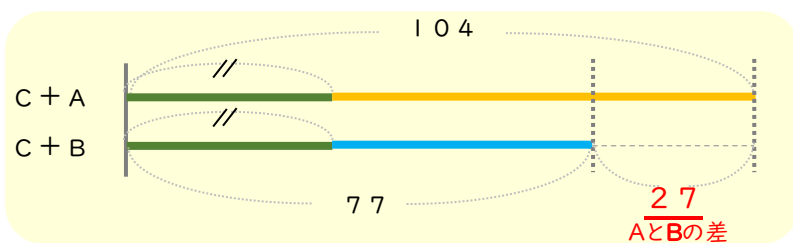
AとCの和が104

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ BとCの和が77 と AとCの和104 よりAとBの差を求める。



和と差が
分かる



求めるのはBの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・AとB 合わせて 113 (和) AとB ちがいは 27 (差)

Aから差を引いて、Bと同じ長さにする。それを2で割る。(B)

【式】 $104 - 77 = 27$ (AとBの差)

$(113 - 27) \div 2 = 43$ (B)

【答え】 B 43

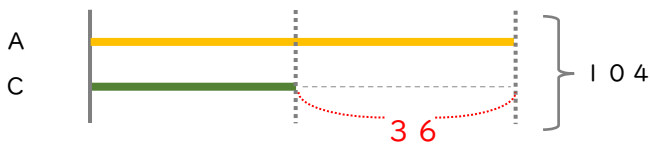
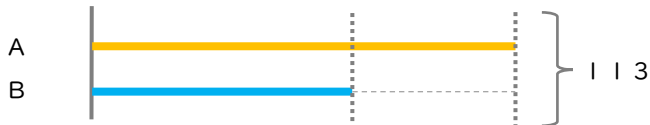
AとBの和が113

BとCの和が77

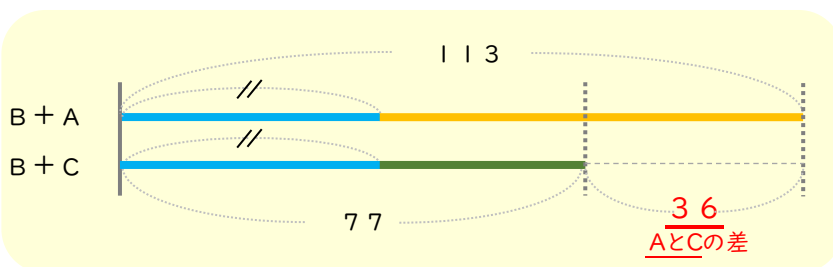
AとCの和が104

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が113 と BとCの和が77 よりAとCの差を求める。



和と差が
分かる



求めるのはBの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・AとC 合わせて 104 (和) AとC ちがいは 36 (差)

Aから差を引いて、Cと同じ長さにする。それを2で割る。(C) Cに差を足す。(A)

$A + B = 113$ なので $113 - A = B$

$B + C = 77$ なので $77 - C = B$

【式】 $113 - 77 = 36$ (AとCの差)

$(104 - 36) \div 2 = 34$ (C)

$34 + 36 = 70$ (A)

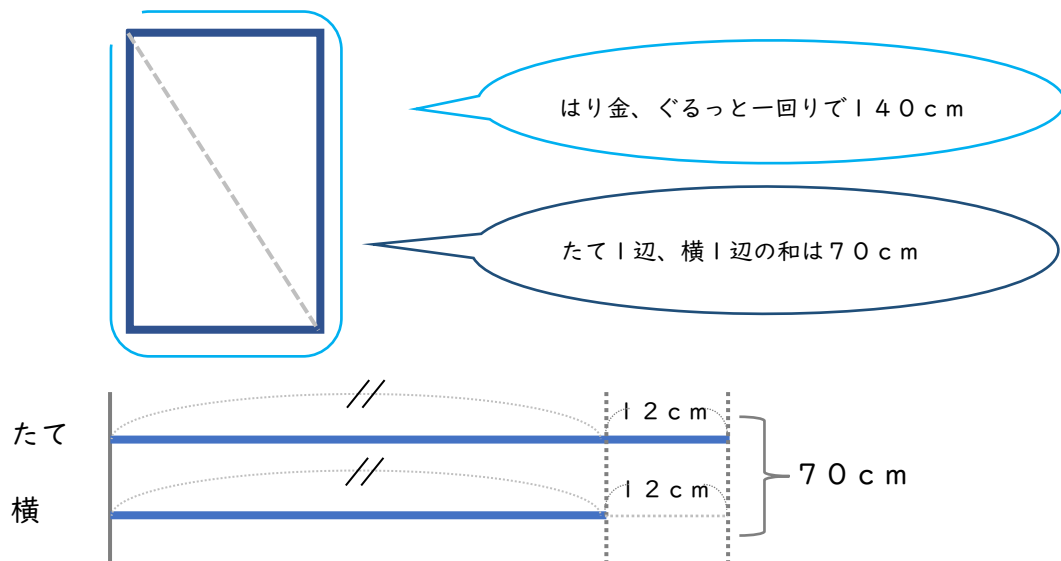
$113 - 70 = 43$ (B)

$77 - 34 = 43$ (B)

【答え】 B 43

③（長方形の問題）

長さが140cmあるはり金を折り曲げて長方形を作ります。横の長さをたての長さより12cm短くするとき、この長方形の面積を求めましょう。



合わせて 70cm (和) ちがいは 12cm (差)

求めるのは、長方形面積。

- ① たてから差を引いて、横と同じ長さにする。それを2で割る。(横) 横に差を足す。(たて)
 (①) 横に差を足して、たてと同じ長さにする。それを2で割る。(たて) たてから差を引く。(横)

【式】 ① $140 \div 2 = 70$

$(70 - 12) \div 2 = 29$ (横)

$29 + 12 = 41$ (たて)

$29 \times 41 = 1189$

(①) $140 \div 2 = 70$

$(70 + 12) \div 2 = 41$ (たて)

$41 - 12 = 29$ (横)

$41 \times 29 = 1189$

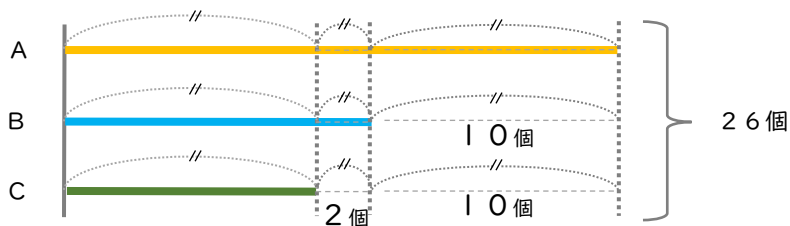
【答え】 1189cm²

④（割り切れる場合を考える問題）

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、26個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは10個、BくんとCくんの個数のちがいは2個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。

線分図は2通りできる。線分図より答えを求め、割り切れた方が正解。

〈ケース1・・・BくんがCくんより多いとき（Bが2番目に多いとき）〉



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 26（和）

AとB ちがいは 10（差） BとC ちがいは 2（差）

AとB+C ちがいは 10+2+10=22（差）

B、Cに差を足してAと同じ個数にする。それを3で割る。（A）

$(26 + 22) \div 3 = 16$ （A）

【式】

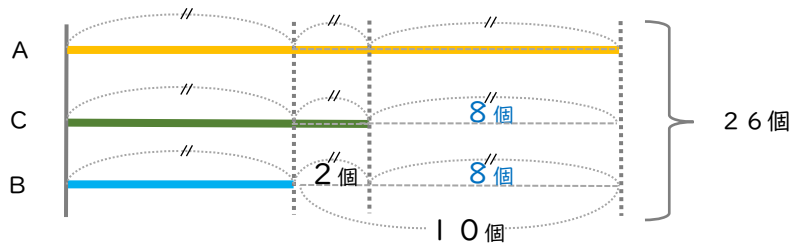
$$10 + 2 + 10 = 22$$

$$(26 + 16) \div 3 = 16 \text{（A）}$$

【答え】 Aくん 16個

〈ケース2・・・BくんがCくんより少ない場合（Cが2番目に多いとき）〉

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、26個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは10個、BくんとCくんの個数のちがいは2個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 26 (和)

AとB ちがいは 10 (差) BとC ちがいは 2 (差)

AとB+C ちがいは $10 + (10 - 2) = 18$ (差)

B、Cに差を足してAと同じ個数にする。それを3で割る。(A)

$(26 + 18) \div 3 = 14 \cdots 2$ (A) 割り切れない

ケース2は割り切れないので違う

【式】

$$10 + (10 - 2) = 18$$

$$(26 + 18) \div 3 = 14 \cdots 2 \text{ (A) 割り切れないので違う}$$

⑤

A, Bの2つの数があります。AはBよりも大きく、その和を6倍しても、その差を8倍しても3840になります。それぞれいくつでしょうか。

$$(A + B) \times 6 = 3840$$

$$(A - B) \times 8 = 3840$$

$$A + B = 3840 \div 6 = 640$$

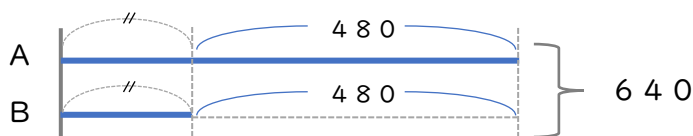
$$A - B = 3840 \div 8 = 480$$

合わせて 640 (和) ちがいは 480 (差)

求めるのは、それぞれの数

① Aから差を引いて、Bと同じ値にする。それを2で割る。(B) Bに差を足してA。

(①) Bに差を足して、Aと同じ値にする。それを2で割る。(A) Aから差を引いてB



【式】 ① $3840 \div 6 = 640$

$$3840 \div 8 = 480$$

$$(640 - 480) \div 2 = 80 \text{ (B)}$$

$$80 + 480 = 560 \text{ (A)}$$

【式】 (①) $3840 \div 6 = 640$

$$3840 \div 8 = 480$$

$$(640 + 480) \div 2 = 560 \text{ (A)}$$

$$560 - 480 = 80 \text{ (B)}$$

【答え】 A 560 B 80

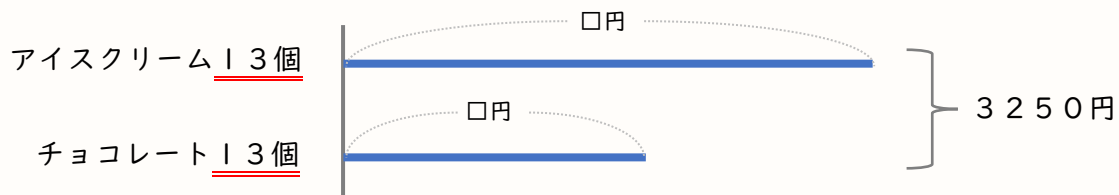
さくさく和差算・下

第18回の解答

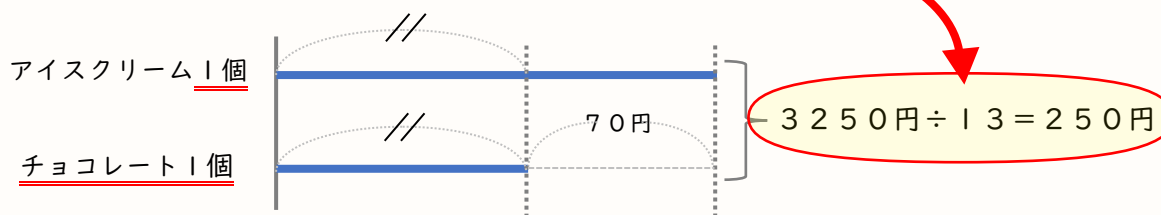
①（それぞれ1個の値を求める問題）

チョコレートとアイスクリームを13個ずつ買うと3250円でした。チョコレートの代金がアイスクリームの代金より70円安いとき、1個の代金はそれぞれいくらでしょうか。

チョコレートと、アイスクリームそれぞれ13個ずつのとき、和は3250円



チョコレートとアイスクリーム、それぞれ1個ずつのとき、差は70円。



$$3250 \text{円} \div 13 = 250 \text{円}$$

合わせて 250円（和） ちがいは 70円（差）

求めるのは、それぞれ1個の代金（値段）。

①アイスクリームから差を引いて、チョコレートと同じ値にする。それを2で割る。（チョコレート）
チョコレートに差を足す。（アイスクリーム）

①チョコレートに差を足して、アイスクリームと同じ値にする。それを2で割る。（アイスクリーム）
アイスクリームから差を引く。（チョコレート）

【式】① $3250 \div 13 = 250$ (各1個の和)
 $(250 - 70) \div 2 = 90$ (チョコレート)
 $90 + 70 = 160$ (アイスクリーム)

① $3250 \div 13 = 250$ (各1個の和)
 $(250 + 70) \div 2 = 160$ (アイスクリーム)
 $160 - 70 = 90$ (チョコレート)

【答え】 チョコレート 90円 アイスクリーム 160円

② (和が3つある問題)

3つの整数A、B、Cがあります。AとBの和が103、BとCの和が58、AとCの和が71のとき、Bはいくつになりますか。

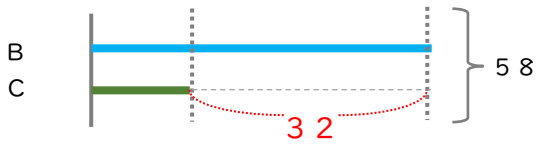
AとBの和が103

BとCの和が58

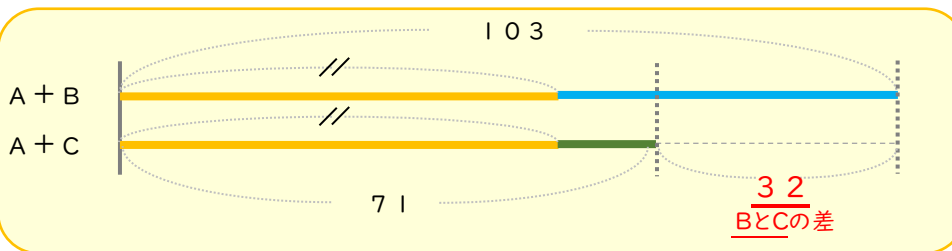
AとCの和が71

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が103 と AとCの和が71よりBとCの差を求める。



和と差が
分かる



求めるのはBの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・BとC 合わせて 58 (和) BとC ちがいは 32 (差)

Cに差を足して、Bと同じ長さにする。それを2で割る。(B)

【式】 $103 - 71 = 32$ (BとCの差)

$(58 + 32) \div 2 = 45$ (B)

【答え】 B 45

※その他の方法

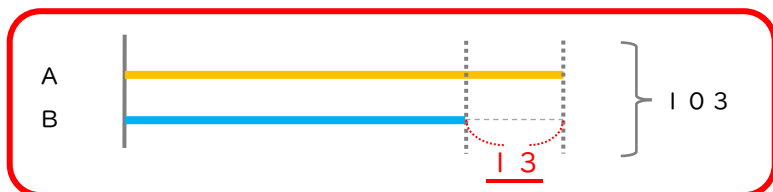
AとBの和が103

BとCの和が58

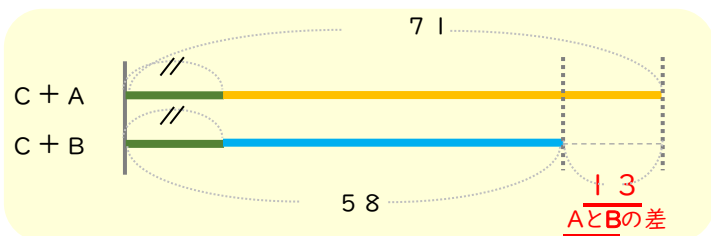
AとCの和が71

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ BとCの和が58 と AとCの和71 よりAとBの差を求める。



和と差が
分かる



求めるのはBの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・AとB 合わせて 103 (和) AとB ちがいは 13 (差)

Aから差を引いて、Bと同じ長さにする。それを2で割る。(B)

【式】 $71 - 58 = 13$ (AとBの差)

$(103 - 13) \div 2 = 45$ (B)

【答え】 B 45

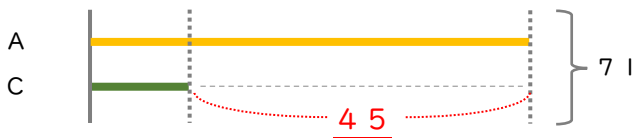
AとBの和が103

BとCの和が58

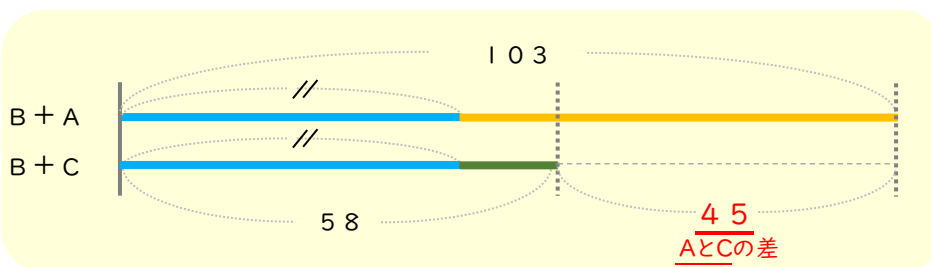
AとCの和が71

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が103 と BとCの和が58 よりAとCの差を求める。



和と差が
分かる



求めるのはBの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・AとC 合わせて 71 (和) AとC ちがいは 45 (差)

Aから差を引いて、Cと同じ長さにする。それを2で割る。(C) Cに差を足す。(A)

A + B = 103なので $103 - A = B$

B + C = 58なので $58 - C = B$

【式】 $103 - 58 = 45$ (AとCの差)

$(71 - 45) \div 2 = 13$ (C)

$13 + 45 = 58$ (A)

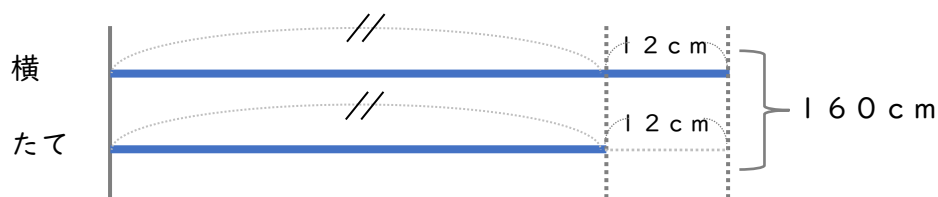
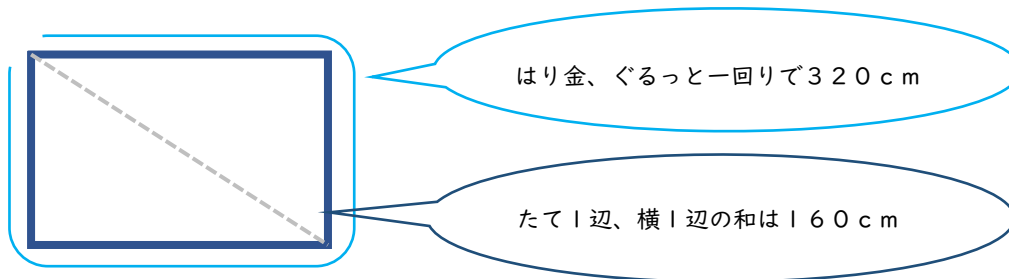
$103 - 58 = 45$ (B)

$58 - 13 = 45$ (B)

【答え】 B 45

③（長方形の問題）

長さが320cmあるはり金を折り曲げて長方形を作ります。横の長さをたての長さより12cm短くするとき、この長方形の面積を求めましょう。



合わせて 160cm (和) ちがいは 12cm (差)

求めるのは、長方形面積。

- ①横から差を引いて、たてと同じ長さにする。それを2で割る。(たて) たてに差を足す。(横)
 (①)たてに差を足して、横と同じ長さにする。それを2で割る。(横) 横から差を引く。(たて)

【式】 ① $320 \div 2 = 160$

$(160 - 12) \div 2 = 74$ (たて)

$74 + 12 = 86$ (横)

$74 \times 86 = 6364$

(①) $320 \div 2 = 160$

$(160 + 12) \div 2 = 86$ (横)

$86 - 12 = 74$ (たて)

$86 \times 74 = 6364$

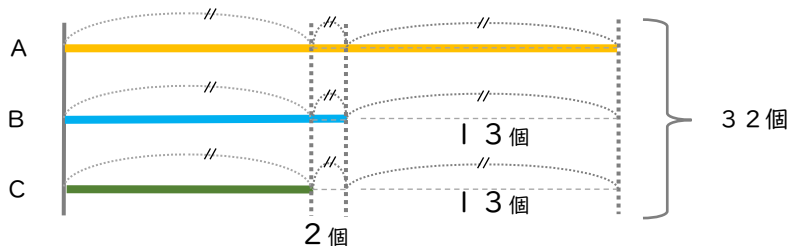
【答え】 6364 cm²

④（割り切れる場合を考える問題）

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、32個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは13個、BくんとCくんの個数のちがいは2個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。

線分図は2通りできる。線分図より答えを求め、割り切れた方が正解。

〈ケース1・・・BくんがCくんより多いとき（Bが2番目に多いとき）〉



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 32（和）

AとB ちがいは 13（差） BとC ちがいは 2（差）

AとB+C ちがいは 13+2+13=28（差）

B、Cに差を足してAと同じ個数にする。それを3で割る。（A）

$$(32 + 28) \div 3 = 20 \text{ (A)}$$

【式】

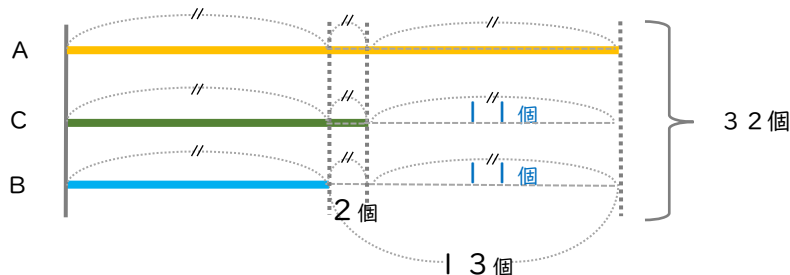
$$13 + 2 + 13 = 28$$

$$(32 + 28) \div 3 = 20 \text{ (A)}$$

【答え】 Aくん 20個

〈ケース2・・・BくんがCくんより少ない場合（Cが2番目に多いとき）〉

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、32個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは13個、BくんとCくんの個数のちがいは2個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 32 (和)

AとB ちがいは 13 (差) BとC ちがいは 2 (差)

AとB+C ちがいは $13 + (13 - 2) = 24$ (差)

B、Cに差を足してAと同じ個数にする。それを3で割る。(A)

$(32 + 24) \div 3 = 18 \cdots 2$ (A) 割り切れない

ケース2は割り切れないので違う

【式】

$$13 + (13 - 2) = 24$$

$$(32 + 24) \div 3 = 18 \cdots 2 \text{ (A) 割り切れないので違う}$$

⑤

A, Bの2つの数があります。AはBよりも大きく、その和を3倍しても、その差を7倍しても945になります。それぞれいくつでしょうか。

$$(A + B) \times 3 = 945$$

$$(A - B) \times 7 = 945$$

$$A + B = 945 \div 3 = 315$$

$$A - B = 945 \div 7 = 135$$

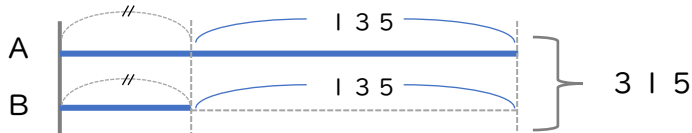
合わせて 315 (和)

ちがいは 135 (差)

求めるのは、それぞれの数

① Aから差を引いて、Bと同じ値にする。それを2で割る。(B) Bに差を足してA。

(①) Bに差を足して、Aと同じ値にする。それを2で割る。(A) Aから差を引いてB



【式】 ① $945 \div 3 = 315$

$$945 \div 7 = 135$$

$$(315 - 135) \div 2 = 90 \text{ (B)}$$

$$90 + 135 = 225 \text{ (A)}$$

【式】 (①) $945 \div 7 = 135$

$$945 \div 3 = 315$$

$$(315 + 135) \div 2 = 225 \text{ (A)}$$

$$225 - 135 = 90 \text{ (B)}$$

【答え】 A 225 B 90

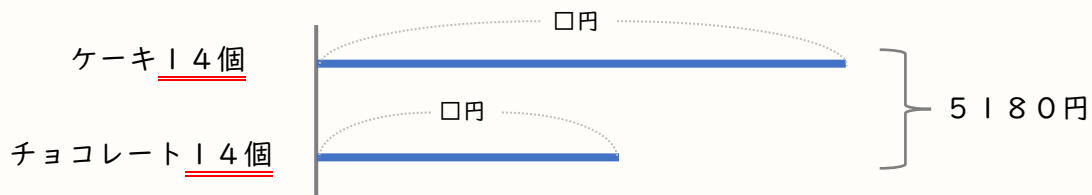
さくさく和差算・下

第19回の解答

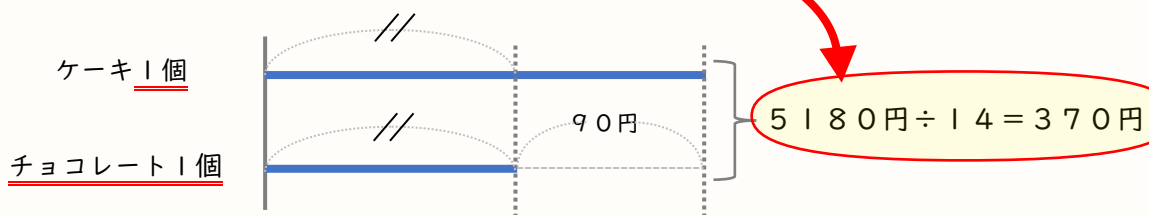
①（それぞれ1個の値を求める問題）

チョコレートとケーキを14個ずつ買うと5180円でした。ケーキの代金はチョコレートの代金より90円高いそうです。1個の代金はそれぞれいくらでしょうか。

チョコレートと、ケーキそれぞれ14個ずつのとき、和は5180円



チョコレートとケーキ、それぞれ1個ずつのとき、差は90円。



合わせて 370円（和） ちがいは 90円（差）

求めるのは、それぞれ1個の代金（値段）。

①ケーキから差を引いて、チョコレートと同じ値にする。それを2で割る。（チョコレート）

チョコレートに差を足す。（ケーキ）

(①)チョコレートに差を足して、ケーキと同じ値にする。それを2で割る。（ケーキ）

ケーキから差を引く。（チョコレート）

【式】① $5180 \div 14 = 370$ (各1個の和)

$(370 - 90) \div 2 = 140$ (チョコレート)

$140 + 90 = 230$ (ケーキ)

(①) $5180 \div 14 = 370$ (各1個の和)

$(370 + 90) \div 2 = 230$ (ケーキ)

$230 - 90 = 140$ (チョコレート)

【答え】 チョコレート 140円 ケーキ 230円

② (和が3つある問題)

3つの整数A、B、Cがあります。AとBの和が108、BとCの和が59、AとCの和が103のとき、Bはいくつになりますか。

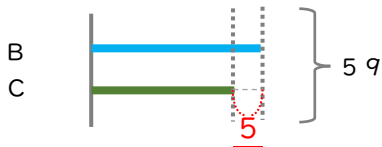
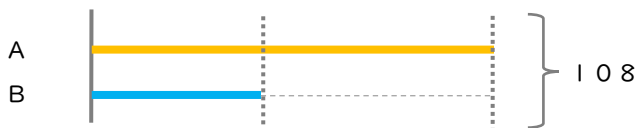
AとBの和が108

BとCの和が59

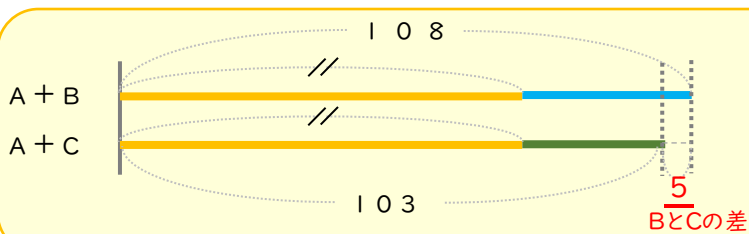
AとCの和が103

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が108 と AとCの和が103よりBとCの差を求める。



和と差が
分かる



求めるのはBの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・BとC 合わせて 59 (和) BとC ちがいは 5 (差)

Cに差を足して、Bと同じ長さにする。それを2で割る。(B)

【式】 $108 - 103 = 5$ (BとCの差)

$(59 + 5) \div 2 = 32$ (B)

【答え】 B 32

※その他の方法

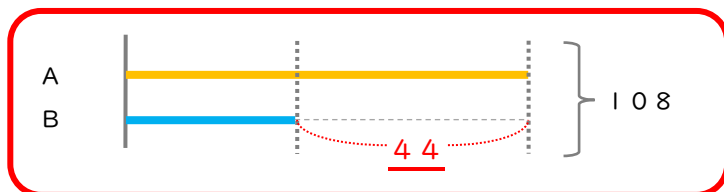
AとBの和が108

BとCの和が59

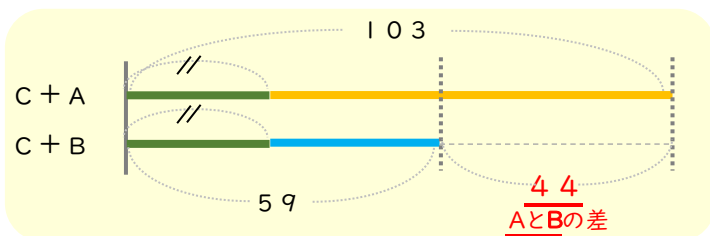
AとCの和が103

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ BとCの和が59 と AとCの和103 よりAとBの差を求める。



和と差が
分かる



求めるのはBの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・AとB 合わせて 103 (和) AとB ちがいは 44 (差)

Aから差を引いて、Bと同じ長さにする。それを2で割る。(B)

【式】 $103 - 44 = 44$ (AとBの差)

$(108 - 44) \div 2 = 32$ (B)

【答え】 B 32

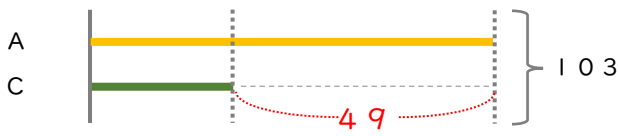
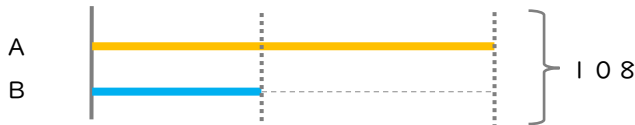
AとBの和が108

BとCの和が59

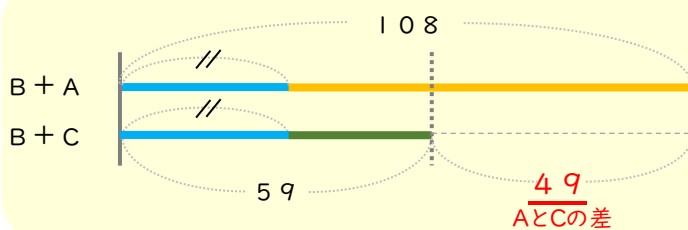
AとCの和が103

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が108 と BとCの和が59 よりAとCの差を求める。



和と差が
分かる



求めるのはBの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・AとC 合わせて 103 (和) AとC ちがいは 49 (差)

Aから差を引いて、Cと同じ長さにする。それを2で割る。(C) Cに差を足す。(A)

$$A + B = 108 \text{ なので } 108 - A = B$$

$$B + C = 59 \text{ なので } 59 - C = B$$

【式】 $108 - 59 = 49$ (AとCの差)

$$(103 - 49) \div 2 = 27 \text{ (C)}$$

$$27 + 49 = 76 \text{ (A)}$$

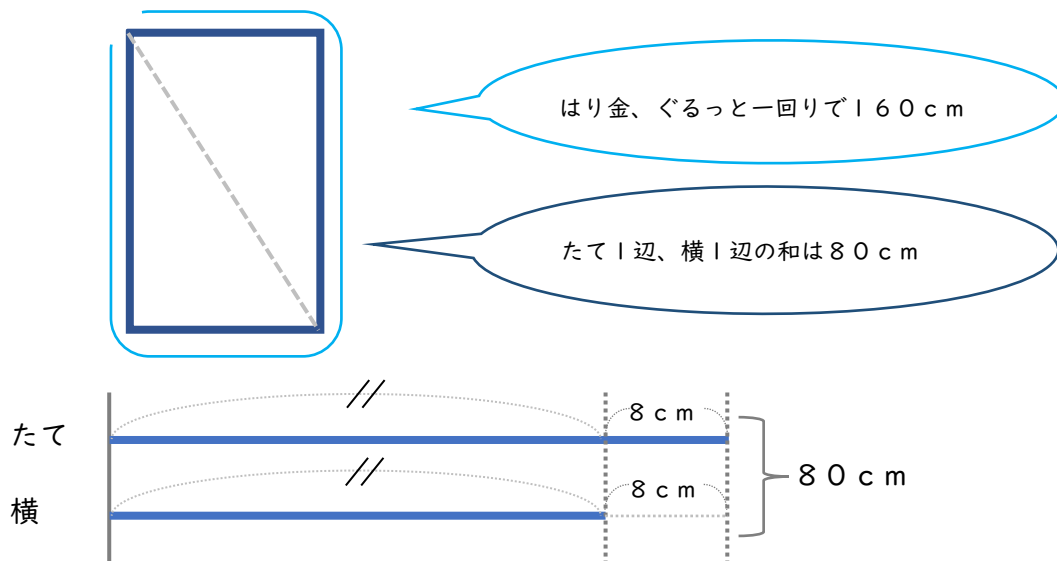
$$108 - 76 = 32 \text{ (B)}$$

$$59 - 27 = 32 \text{ (B)}$$

【答え】 B 32

③（長方形の問題）

長さが160cmあるはり金を折り曲げて長方形を作ります。横の長さをたての長さより8cm短くするとき、この長方形の面積を求めましょう。



合わせて 80cm (和) ちがいは 8cm (差)

求めるのは、長方形面積。

- ① たてから差を引いて、横と同じ長さにする。それを2で割る。(横) 横に差を足す。(たて)
 (①) 横に差を足して、たてと同じ長さにする。それを2で割る。(たて) たてから差を引く。(横)

【式】 ① $160 \div 2 = 80$

$(80 - 8) \div 2 = 36$ (横)

$36 + 8 = 44$ (たて)

$36 \times 44 = 1584$

(①) $160 \div 2 = 80$

$(80 + 8) \div 2 = 44$ (たて)

$44 - 8 = 36$ (横)

$44 \times 36 = 1584$

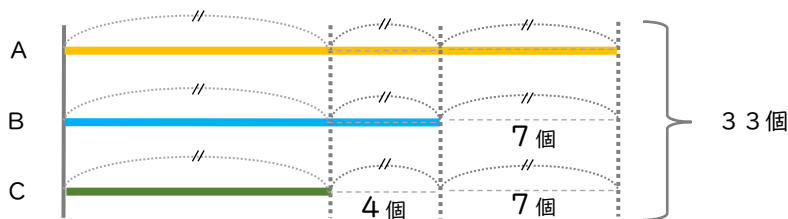
【答え】 1584 cm²

④（割り切れる場合を考える問題）

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、33個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは7個、BくんとCくんの個数のちがいは4個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。

線分図は2通りできる。線分図より答えを求め、割り切れた方が正解。

〈ケース1・・・BくんがCくんより多いとき（Bが2番目に多いとき）〉



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 33（和）

AとB ちがいは 7（差） BとC ちがいは 4（差）

AとB+C ちがいは $7 + 4 + 7 = 18$ （差）

B、Cに差を足してAと同じ個数にする。それを3で割る。（A）

$(33 + 18) \div 3 = 17$ （A）

【式】

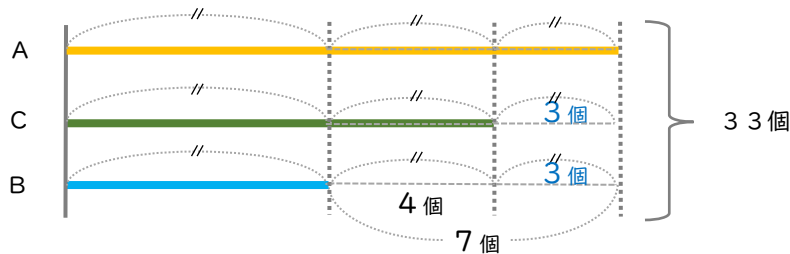
$$7 + 4 + 7 = 18$$

$$(33 + 18) \div 3 = 17 \text{（A）}$$

【答え】 Aくん 17個

〈ケース2・・・BくんがCくんより少ない場合（Cが2番目に多いとき）〉

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、33個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは7個、BくんとCくんの個数のちがいは4個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 33 (和)

AとB ちがいは 7 (差) BとC ちがいは 4 (差)

AとB+C ちがいは $7 + (7 - 4) = 10$ (差)

B、Cに差を足してAと同じ個数にする。それを3で割る。(A)

$(33 + 10) \div 3 = 14 \dots 1$ (A) 割り切れない

ケース2は割り切れないので違う

【式】

$$7 + (7 - 4) = 10$$

$$(33 + 10) \div 3 = 14 \dots 1 \text{ (A) 割り切れないので違う}$$

⑤

A, Bの2つの数があります。AはBよりも大きく、その和を4倍しても、その差を6倍しても3072になります。それぞれいくつでしょうか。

$$(A + B) \times 4 = 3072$$

$$(A - B) \times 6 = 3072$$

$$A + B = 3072 \div 4 = 768$$

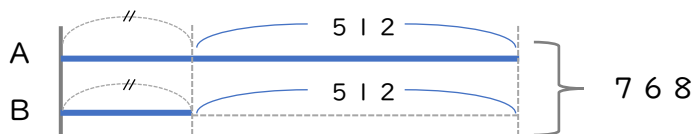
$$A - B = 3072 \div 6 = 512$$

合わせて 768 (和) ちがいは 512 (差)

求めるのは、それぞれの数

① Aから差を引いて、Bと同じ値にする。それを2で割る。(B) Bに差を足してA。

(①) Bに差を足して、Aと同じ値にする。それを2で割る。(A) Aから差を引いてB



【式】 ① $3072 \div 4 = 768$

$$3072 \div 6 = 512$$

$$(768 - 512) \div 2 = 128 \text{ (B)}$$

$$128 + 512 = 640 \text{ (A)}$$

【式】 (①) $3072 \div 4 = 768$

$$3072 \div 6 = 512$$

$$(768 + 512) \div 2 = 640 \text{ (A)}$$

$$640 - 512 = 128 \text{ (B)}$$

【答え】 A 640 B 128

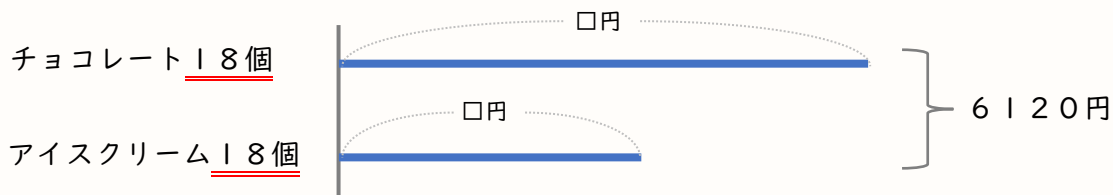
さくさく和差算・下

第20回の解答

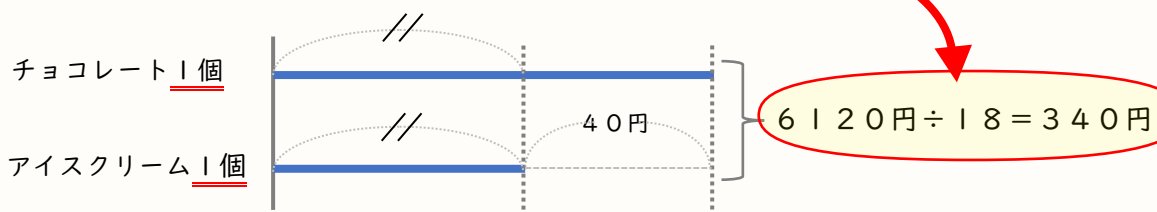
①（それぞれ1個の値を求める問題）

チョコレートとアイスクリームを18個ずつ買うと6120円でした。チョコレートの代金がアイスクリームの代金より40円高いとき、1個の代金はそれぞれいくらでしょうか。

チョコレートと、アイスクリームそれぞれ18個ずつのとき、和は6120円



チョコレートとアイスクリーム、それぞれ1個ずつのとき、差は40円。



$$6120 \text{ 円} \div 18 = 340 \text{ 円}$$

合わせて 340円（和） ちがいは 40円（差）

求めるのは、それぞれ1個の代金（値段）。

- ①チョコレートから差を引いて、アイスクリームと同じ値にする。それを2で割る。（アイスクリーム）
 アイスクリームに差を足す。（チョコレート）
 (①)アイスクリームに差を足して、チョコレートと同じ値にする。それを2で割る。（チョコレート）
 チョコレートから差を引く。（アイスクリーム）

【式】① $6120 \div 18 = 340$ (各1個の和)

$(340 - 40) \div 2 = 150$ (アイスクリーム)

$150 + 40 = 190$ (チョコレート)

(①) $6120 \div 18 = 340$ (各1個の和)

$(340 + 40) \div 2 = 190$ (チョコレート)

$190 - 40 = 150$ (アイスクリーム)

【答え】 チョコレート 190円 アイスクリーム 150円

② (和が3つある問題)

3つの整数A、B、Cがあります。AとBの和が147、BとCの和が103、AとCの和が114のとき、Bはいくつになりますか。

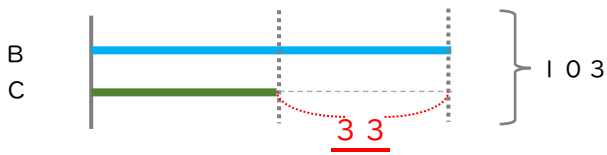
AとBの和が147

BとCの和が103

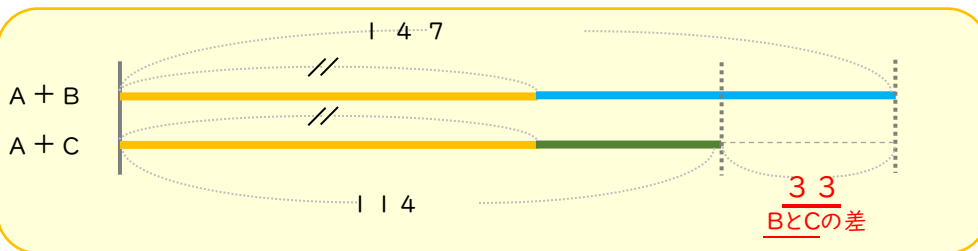
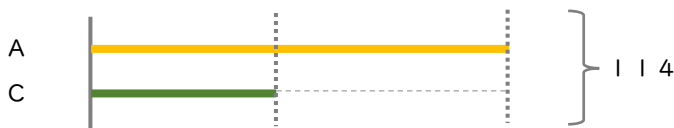
AとCの和が114

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が147 と AとCの和が114よりBとCの差を求める。



和と差が
分かる



求めるのはBの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・BとC 合わせて 103 (和) BとC ちがいは 33 (差)

Cに差を足して、Bと同じ長さにする。それを2で割る。(B)

【式】 $147 - 114 = 33$ (BとCの差)

$(103 + 33) \div 2 = 68$ (B)

【答え】 B 68

※その他の方法

AとBの和が 147

BとCの和が 103

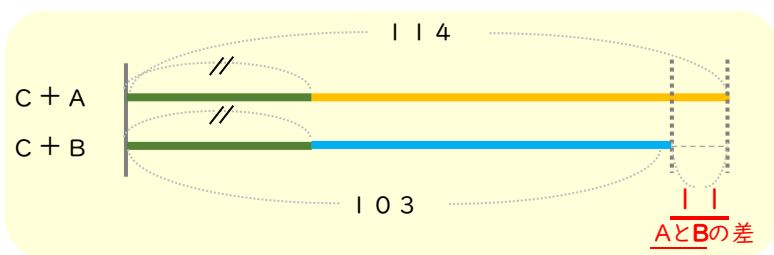
AとCの和が 114

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ BとCの和が 103 と AとCの和 114 よりAとBの差を求める。



和と差が
分かる



求めるのはBの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・AとB 合わせて 147 (和) AとB ちがいは 11 (差)

Aから差を引いて、Bと同じ長さにする。それを2で割る。(B)

【式】 $114 - 103 = 11$ (AとBの差)

$(147 - 11) \div 2 = 68$ (B)

【答え】 B 68

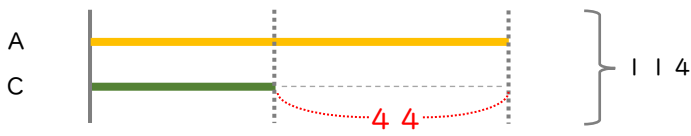
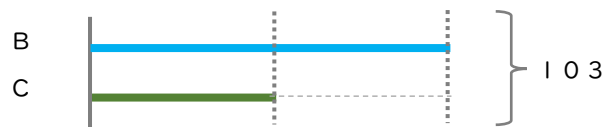
AとBの和が 147

BとCの和が 103

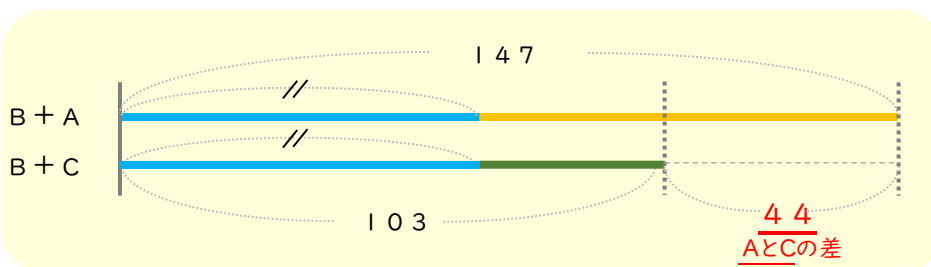
AとCの和が 114

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が 147 と BとCの和が 103 よりAとCの差を求める。



和と差が
分かる



求めるのはBの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・AとC 合わせて 114 (和) AとC ちがいは 44 (差)

Aから差を引いて、Cと同じ長さにする。それを2で割る。(C) Cに差を足す。(A)

$$A + B = 147 \text{ なので } 147 - A = B$$

$$B + C = 103 \text{ なので } 103 - C = B$$

【式】 $147 - 103 = 44$ (AとCの差)

$$(114 - 44) \div 2 = 35 \text{ (C)}$$

$$35 + 44 = 79 \text{ (A)}$$

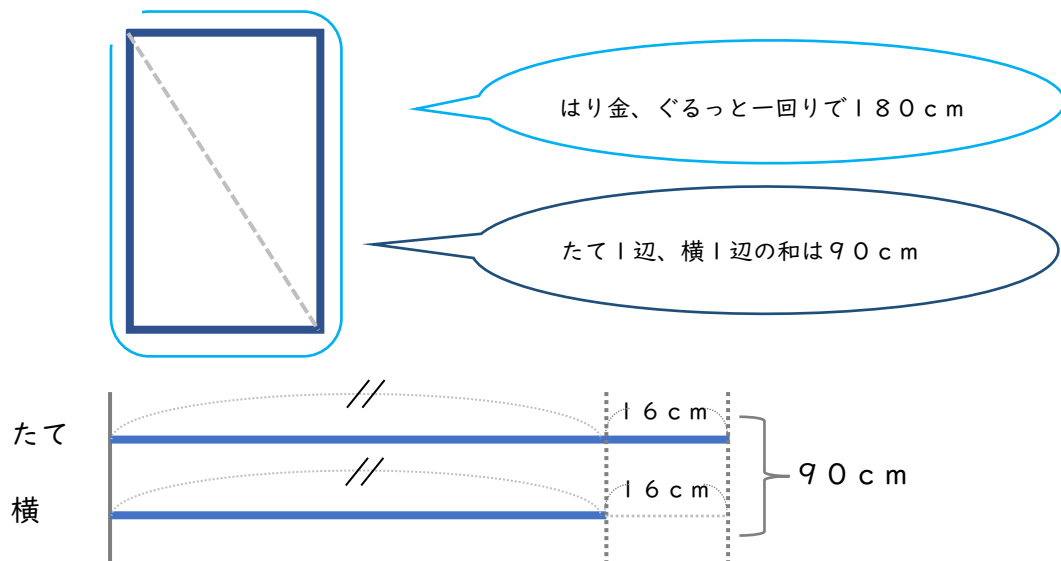
$$147 - 79 = 68 \text{ (B)}$$

$$103 - 35 = 68 \text{ (B)}$$

【答え】 B 68

③（長方形の問題）

長さが180cmあるはり金を折り曲げて長方形を作ります。横の長さをたての長さより16cm短くするとき、この長方形の面積を求めましょう。



合わせて 90cm (和) ちがいは 16cm (差)

求めるのは、長方形面積。

- ① たてから差を引いて、横と同じ長さにする。それを2で割る。(横) 横に差を足す。(たて)
 (①) 横に差を足して、たてと同じ長さにする。それを2で割る。(たて) たてから差を引く。(横)

【式】 ① $180 \div 2 = 90$
 $(90 - 16) \div 2 = 37$ (横)
 $37 + 16 = 53$ (たて)
 $37 \times 53 = 1961$

(①) $180 \div 2 = 90$
 $(90 + 16) \div 2 = 53$ (たて)
 $53 - 16 = 37$ (横)
 $53 \times 37 = 1961$

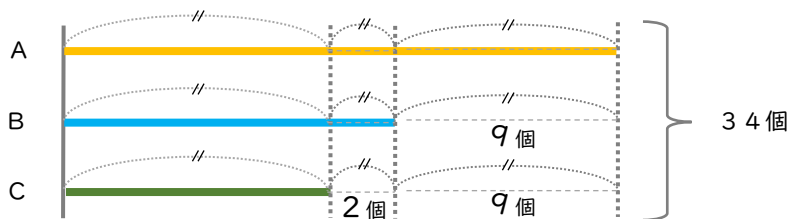
【答え】 1961 cm²

④（割り切れる場合を考える問題）

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、34個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは9個、BくんとCくんの個数のちがいは2個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。

線分図は2通りできる。線分図より答えを求め、割り切れた方が正解。

〈ケース1・・・BくんがCくんより多いとき（Bが2番目に多いとき）〉



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 34（和）

AとB ちがいは 9（差） BとC ちがいは 2（差）

AとB+C ちがいは $9 + 2 + 9 = 20$ （差）

B、Cに差を足してAと同じ個数にする。それを3で割る。（A）

$$(34 + 20) \div 3 = 18 \text{ (A)}$$

【式】

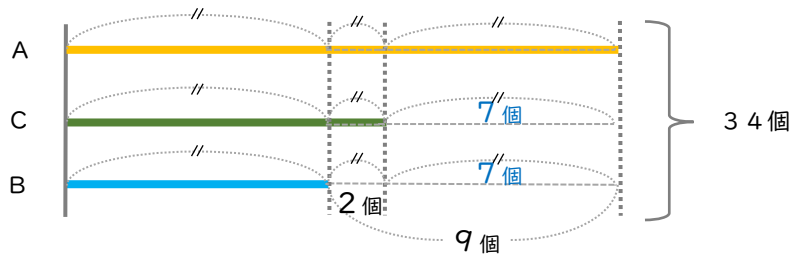
$$9 + 2 + 9 = 20$$

$$(34 + 20) \div 3 = 18 \text{ (A)}$$

【答え】 Aくん 18個

〈ケース2・・・BくんがCくんより少ない場合（Cが2番目に多いとき）〉

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、34個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは9個、BくんとCくんの個数のちがいは2個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 34 (和)

AとB ちがいは 9 (差) BとC ちがいは 2 (差)

AとB+C ちがいは $9 + (9 - 2) = 16$ (差)

B、Cに差を足してAと同じ個数にする。それを3で割る。(A)

$(34 + 16) \div 3 = 16 \cdots 2$ (A) 割り切れない

ケース2は割り切れないので違う

【式】

$$9 + (9 - 2) = 16$$

$$(34 + 16) \div 3 = 16 \cdots 2 \text{ (A) 割り切れないので違う}$$

⑤

A, Bの2つの数があります。AはBよりも大きく、その和を4倍しても、その差を7倍しても2912になります。それぞれいくつでしょうか。

$$(A + B) \times 4 = 2912$$

$$(A - B) \times 7 = 2912$$

$$A + B = 2912 \div 4 = 728$$

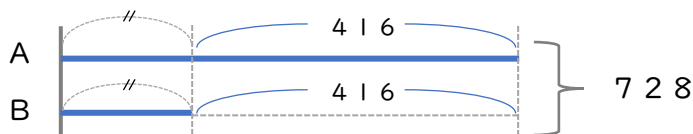
$$A - B = 2912 \div 7 = 416$$

合わせて 728 (和) ちがいは 416 (差)

求めるのは、それぞれの数

① Aから差を引いて、Bと同じ値にする。それを2で割る。(B) Bに差を足してA。

(①) Bに差を足して、Aと同じ値にする。それを2で割る。(A) Aから差を引いてB



【式】 ① $2912 \div 4 = 728$

$$2912 \div 7 = 416$$

$$(728 - 416) \div 2 = 156 \text{ (B)}$$

$$156 + 416 = 572 \text{ (A)}$$

【式】 (①) $2912 \div 4 = 728$

$$2912 \div 7 = 416$$

$$(728 + 416) \div 2 = 572 \text{ (A)}$$

$$572 - 416 = 156 \text{ (B)}$$

【答え】 A 572 B 156